

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： デッサン（実習）			前期		教科担任： 長谷川 雅則（実務経験教員）			
学科名：ファッション・プロモート科 建築科(合同)			コース：		1年	単位数：	2 単位	
授業のねらい		工芸作家での実務経験を活かし、デッサンを通して立体の把握、プロポーション比例の仕組みを目で感じ取り、手で表現することを指導する。また、立体造形では粘土を用いてモチーフを自分なりのオリジナリティーあふれる表現をする。				前 期	2H×15W=30H	
						後 期	2H×15W=30H	
						合 計	60H	
目指す検定・資格		目標 デザイン力 取得可能な検定				教材費	4500円	
テキスト・教材		スケッチブック 鉛筆 練り消しゴム						
評価方法		前期：課題 出席状況 学習態度等を総合して評価する				その他		
時数	単元	授業内容（細目）				学習上の留意点		実時数
1	デッサン	身近なものをスケッチする。				紙と鉛筆になれる		2
2	デッサン	円筒形(石膏)を描く				紙の真中に納める		2
3	デッサン	円錐形(石膏)を描く				縦.横.奥行のバランス		2
4	デッサン	クララ像（石膏）を描く				縦.横.奥行のバランス		2
5	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面				縦.横.奥行のバランス 陰影のグラデーション		2
6	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面				縦.横.奥行のバランス 陰影の グラデーション		2
7	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面				縦.横.奥行のバランス 陰影のグラデーション		2
8	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面				縦.横.奥行のバランス 陰影の グラデーション		2
9	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く 半面				縦.横.奥行のバランス 陰影の グラデーション		2
10	デッサン	自画像を描く				縦.横.奥行のバランス 陰影の グラデーション		2
11	デッサン	自画像を描く				縦.横.奥行のバランス 陰影の グラデーション		2
12	デッサン	自画像を描く				縦.横.奥行のバランス 陰影の グラデーション		2
13	デッサン	人体クロッキーを描く				体のプロポーション 動きを捉える		2
14	デッサン	人体クロッキーを描く				体のプロポーション 動きを捉える		2
15	デッサン	人体クロッキーを描く				体のプロポーション 動きを捉える		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。							

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： デッサン（実習）			後期	教科担任： 長谷川 雅則（実務経験教員）			
学科名： ファッション・プロモート科 建築科(合同)		コース：		1年	単位数：	2 単位	
授業のねらい		工芸作家での実務経験を活かし、デッサンを通して立体の把握、プロポーション比例の仕組みを目で感じ取り、手で表現することを指導する。また、立体造形では粘土を用いてモチーフを自分なりのオリジナリティーあふれる表現をする。			前 期	2H×15W=30H	
					後 期	2H×15W=30H	
					合 計	60H	
目指す検定・資格		目標 デザイン力 取得可能な検定			教材費		
テキスト・教材		粘土製作用教材					
評価方法		後期：課題 出席状況 学習態度等を総合し評価する			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	デッサン	身近なものを書く			紙と鉛筆になれよう		2
2	デッサン	円筒形（石膏）を描く			紙の真中に納める		2
3	デッサン	三角錐（石膏）を描く			縦. 横. 奥行きのバランス		2
4	デッサン	クララ像（石膏）を描く			縦. 横. 奥行きのバランス		2
5	デッサン	アグリッパ像（石膏）を描く			縦. 横. 奥行きのバランス 陰影のグラデーション		2
6	デッサン	パルテノンの首（石膏）を描く			縦. 横. 奥行きのバランス 陰影のグラデーション		2
7	粘土制作	ニンニクデッサン			プロポーションを捉える		2
8	粘土制作	ニンニク造型			プロポーションを捉える		2
9	粘土制作	ニンニク造型			プロポーションを捉える		2
10	粘土制作	色彩計画			オリジナルグラフィックデザイナー 色面構成		2
11	粘土制作	色彩計画			オリジナルグラフィックデザイナー 色面構成		2
12	粘土制作	毛の造形			手と腕のプロポーション 指のプロとーションを捉える		2
13	粘土制作	毛の造形			手と腕のプロポーション 指のプロとーションを捉える		2
14	粘土制作	毛の造形			手と腕のプロポーション 指のプロとーションを捉える		2
15	粘土制作	毛の造形			手と腕のプロポーション 指のプロとーションを捉える		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。						

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：PC活用1（演習）			通期	教科担任：江口 優一郎		
学 科 名 ファッション・プロモート科		コース：		1年	単位数：2単位	
授業のねらい		コンピュータを扱う上では欠かせないインターネット社会についての知識を身につけ、検定の受検により知識の定着を図る。Word2019およびExcel2019の基礎から応用までの技法を学び到達段階ごとに検定の受験により技術の定着を図る。			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 Word, Excel 1 級、2 級、3 級			教材費	
テキスト・教材		Word2019クイックマスター基本編、応用編 Excel2019クイックマスター基本編、応用編				
評価方法		前期 実技試験、課題 後期 実技試験、課題			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	文書作成ソフトの概要 Wordの概要	文書作成ソフトとは 文書作成ソフトでできること Wordの概要			文書作成ソフトの概要を理解する	2
2	Wordの基本操作	Wordの起動方法、画面構成、既存の文書の開き方、画面操作、 表示モードの切り替え、終了方法			Wordの基本操作をマスターする	2
3	Wordでの効率的な文字入力	新規文書の作成、入力システムの概要・切り替え、文書の保存			効率的な文字入力をマスターする	2
4	文書の編集	ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ・行間の設定、禁則処理、罫線・網掛けの設定			文書のレイアウトを整える方法をマスターする	2
5	文書の印刷	改ページの挿入、ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法、印刷の実行			ワンクリックで効率よく印刷する方法をマスターする	2
6	文書の作成	機能を活用したあいさつ文の挿入方法、段落番号・箇条書きの設定、タブとインデント、ビジネス文書のレイアウト			ビジネス文書の効率的な作成法をマスターする	2
7	文書の作成	機能を活用したあいさつ文の挿入方法、段落番号・箇条書きの設定、タブとインデント、ビジネス文書のレイアウト			ビジネス文書の効率的な作成法をマスターする	2
8	表を用いた文書作成	表の作成、表の編集、表の装飾			見やすい表の作成法をマスターする	2
9	表を用いた文書作成	表の作成、表の編集、表の装飾			見やすい表の作成法をマスターする	2
10	図形や画像を用いた文書の作成	ワードアート・画像の挿入と編集、図形の作成・編集、テキストボックスの作成、アイコンの活用			様々な視覚効果を使いチラシを作成出来るようにする	2
11	図形や画像を用いた文書の作成	ワードアート・画像の挿入と編集、図形の作成・編集、テキストボックスの作成、アイコンの活用			様々な視覚効果を使いチラシを作成出来るようにする	2
12	実践的なビジネス文書の作成	実務を想定した文書の作成、メールで文書を送る際のマナー			これまでの学習の総まとめとして知識の定着を図る	2

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

13	実践的なビジネス文書の作成	実務を想定した文書の作成、メールで文書を送る際のマナー	これまでの学習の総まとめとして知識の定着を図る	2
14	チラシの作成	グラフィック機能を活用したチラシの作成	オリジナリティのあるチラシを作成する。	2
15	チラシの作成	グラフィック機能を活用したチラシの作成	オリジナリティのあるチラシを作成する。	2
16	表計算ソフトの概要 Excelの概要	表計算ソフトとは 表計算ソフトでできること Excelとは	表計算ソフトの概要を理解	2
17	表の編集、ブックの印刷	罫線、操作アシスト、セルの書式と配置、幅と高さの調整、ページ設定と表示モード	基本的な機能の使用法をマスター	2
18	グラフと図形	グラフ作成編集、図形作成	データを用いたグラフを作成し、分析する方法を知る	2
19	関数	統計、数学、論理、日付の関数	関数を用いたフォーマットの作成ができる	2
20	データベース機能	リスト作成、ソート、抽出	目的のデータを効率よく操作する方法を知る	2
21	書類作成	実務を想定した書類の作成	Excelを使用した簡単な書類の作成法を知る	2
22	↓	実務を想定した書類の作成	↓	2
23	入力補助、関数	表示形式、条件付き書式、文字列操作関数、検索行列関数、情報関数	より高度な機能を使い、便利なフォーマットを作る	2
24	グラフ機能	グラフの拡張とデータ予測	高度な分析ができるよう、応用的なグラフ作成を知る	2
25	複数ワークシート	ワークシートの連携と集計	Excelを使用した効率的な業務遂行において必要な機能	2
26	データベース	オートフィル、複雑な条件による抽出、小計機能	より複雑なデータ操作について知る	2
27	データ分析	ワークシート分析、ピボットテーブル、値の予測	クロス集計、予測などより高度な分析方法を知る	2
28	処理の自動化	マクロの登録と実行		2
29	見積書、勤怠管理表の作成	関数、マクロの機能を使用し、実務で書類をより高度かつ効率的に作成するための方法	ビジネスシーンで必要な書類を効率的に作る方法	2
30	見積書、勤怠管理表の作成	関数、マクロの機能を使用し、実務で書類をより高度かつ効率的に作成するための方法	ビジネスシーンで必要な書類を効率的に作る方法	2
その他	單元ごとに実習課題を課す			

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： ビジネス実務 1（講義）			前期		教科担任：堀川 栄美子		
学科名：進級年次			コース：			1年	単位数：2単位
授業のねらい		卒業の希望進路に向けて、自分のキャリアを自分の意志で作っていくためには、自己理解と仕事理解が基本となる。グループワークを行いながら、時には自分自身に問いかけながら、自己実現に向かって進んでいく。				前期 2H×15W = 30H 合計 30H	
目指す検定・資格						教材費	
テキスト・教材		『未来ノート』『マイロード』 『就職 一般常識トレーニングブック』					
評価方法		前期 レポート・課題 出席状況を総合する				その他	
時数	単元	授業内容（細目）				学習上の留意点	実時数
1	就職オリエンテーション	就職に向けて 2年間の心構え		卒業生の状況理解と、2年間の目標を設定する			2
2	未来ノート 1	チーム学修を進めるために 「話し合いの意義」		チーム学習の意義を知る。 メンバー同士の関わり方を身につける			2
3	未来ノート 2	自己理解 「私の大切なもの探し」		自分の価値観についてチームで共有し、人それぞれの価値観があることを知る			2
4	未来ノート 3	自己理解 「私ってどんな人？」		自分を他者に伝えることを意識して、自己イメージを言葉にできるようになる			2
5	未来ノート 4	自己理解 「自分を知る手がかり」		他者は自分が成長するために大切な存在であることを知る			2
6	未来ノート 5	自己理解 「過去を振り返ろう」		自分の人生に対する心構えの根っこにあるものに気づき、自分らしさを考える			2
7	未来ノート 6	自己理解 「なぜ働くの？」		メンバーの考えを聴きあい、多様な価値観を受け入れられるようになる			2
8	未来ノート 7	仕事理解 「地図を作ってみよう」		自分のコミュニケーション特性を知り、円滑なコミュニケーションの取り方を体得する			2
9	就 活 ワ ー ク ショップ 1	入学から 2 か月後の振り返りとこれからのキャリアプランニング		2 か月の経験から感じたことを大切にし、未来へのプランニングを行う			2
10	未来ノート 8	仕事理解 「ケーススタディで学ぶ実際の仕事」		組織人としての行動、役割について考える。			2
11	未来ノート 9	仕事理解 「インタビューしてみよう」		実際に働いている人にインタビューすることで、仕事を自分に引き寄せて考える			2
12	未来ノート 1 0	仕事選択 ～未来に向けて～ 「模擬店を出そう」①		全体目標達成のための組織人としての役割・協働を考える			2
13	未来ノート 1 1	仕事選択 ～未来に向けて～ 「模擬店を出そう」②		全体目標達成のための組織人としての役割・協働を考える			2
14	未来ノート 1 2	仕事選択 ～未来に向けて～ 「未来ページ」		自己理解と仕事理解をマッチさせ、キャリアの目標を設定する			2
15	前期総括	前期まとめ		就職準備期の後期に向けて、キャリア目標を明確にする			2
その他							

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：ビジネス実務2（講義）			後期	教科担任： 堀川 栄美子	
学科名：進級年次1年生		コース：		単位数：	2単位
授業のねらい		卒業後の希望進路に向けて、自分のキャリアを自分の意志で作っていくため、自己理ビジネスマナーを習得し、就職活動等の希望進路に自信を持って臨めるようにする。		後 期 2H×15W=30H 合 計 30H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材		『マイロード』 キャリアファイル			
評価方法		後期：模擬面接にて評価		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	就 活 ワ ー ク ショッ	自己分析を深めるワーク		キャリアカウンセラーによる指導	2
2	就職研究会	卒業生と交流		社会人より話を聞き、就職活動を詳しく知る。	2
3	企業研究	企業研究		履歴書の書き方、様式を知る。	2
4	就職活動準備	履歴書の作成 実践①クレペリン検査実施		自己分析を深める。	2
5	就職活動準備	履歴書の作成 実践② 一般常識テスト実施		自己分析から志望動機を書けるようにする。	2
6	就職活動準備	受験書類の提出マナー		封筒の宛名の書き方、郵送の仕方を知る。	2
7	就職活動準備	面接試験 入退室他マナー 面接試験 応答練習		実践を通して、自信をもって就職活動の準備ができるようにする。	2
8	就職活動準備	①入社準備 内定期間中の過ごし方 就業の心得 電話・来客応対 ②未内定者の就職試験対策		自己分析を深める。	2
9	就職活動準備	面接指導・履歴書指導など		社会人になるにあたってのマナー・知識を習得するとともに、未内定者の就職試験合格を目指す。	2
10	就職活動準備	③SPIテスト実施			2
11	就職活動交流会	就職内定者の話を聞き、就職活動の具体的なイメージを持つ。		就職活動の準備ができるようにする。	2
12	就職活動準備	① 教養講座		社会人になるにあたってのマナー・知識を習得するとともに、未内定者の就職試験合格を目指す。	2
13		② 就職交流会			2
14		③ 履歴書提出等、模擬面接への準備1			2
15		④ 履歴書提出等、模擬面接への準備2			2
その他	なお、上記授業のほか、課題を課すものとする。				

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：		ビジネスマナー（演習）	前期	教科担任：堀川 栄美子	
学科名：		ファッション・プロモート科1,2年	コース：	単位数 2 単位	
授業のねらい （授業概要・目標到達）		企業が求める社会人基礎力を確実に習得し、職業人としての資質向上を目指す。また、来客・電話応対を中心に企業人としての活動・慶弔等も学ぶ。授業では実習を多用するが、その経験から他者との良好な関係づくりも学んでいく。		前期 2H×15W = 30 H 後期 2H×15W = 30 H 合計 60 H	
目指す検定・資格		ビジネス能力検定ジョブパス 3級		教材費	2,052円
テキスト・教材		2024版 要点と演習ビジネス能力検定(B検)ジョブパス3級			
評価方法		検定試験・定期試験・授業態度・出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元（細目）	指導内容		指導上の留意点	実時数
1	自己紹介	あいさつの目的を理解する。 自己紹介が成功するために気をつける事 聞き手からの働きかけ		自己紹介者と聞き手とのプラスの交流を作る	2
2	エチケットとマナー	エチケット、マナー、モラルの違いを考える		日常の経験から身近なものとして、捉える	2
3	ビジネスマナーの基本	身だしなみからあいさつまで基本な内容を学ぶ		職場を意識して考える	2
4	あいさつ	あいさつの効果 あいさつの場面と種類 あいさつ+ワン		対人関係をつくる第一歩であることを意識づける	2
5	敬語表現	敬語の種類 間違えやすい敬語		正しい敬語表現を理解する	2
6	敬語表現	敬語を使った会話		文法として習得した敬語を、自分の言葉として使えるようになる	2
7	話しをしてみよう	話を効果的に伝えるための表現方法 視覚情報、アイコンタクト、ゼスチャー		視覚情報の重要性を知る	2
8	話しをしてみよう	前週の学習を意識したスピーチを行う		前週の学習を生かしたスピーチ	2
9	聞き上手を目指そう	聴くと聞くの違い 聴くことの重要性 会話を進める効果的な質問		意識して聴くことと、漫然と聞くことの違いを知る。質問次第で会話が変化することを体験する	2
10	話す・聴く	話し手と聴き手が、役割を意識して会話を促進する		これまでの学習成果を現れる会話を行う。	2
11	話す・聴く まとめ	演習ノートのまとめ			2
12	指示の受け方・報告・連絡・相談	「話す」「聴く」が、ビジネス現場ではどのように活用されるのかを学ぶ		ビジネス場面での「話す」「聴く」の重要性を知る	2
13	指示の受け方・報告・連絡・相談	「話す」「聴く」が、ビジネス現場ではどのように活用されるのかを学ぶ		ロールプレーで体験する	2
14	指示の受け方・報告・連絡・相談	演習ノートまとめ			2
15	会社活動の基本	組織人にとって不可欠な8つの意識 効率的業務と状況変化への対応		顧客意識を中心にした8つの意識を知る。	2
その他	授業の他に、自宅での学習を要する				

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：		ビジネスマナー（演習）	後期	教科担任：堀川 栄美子	
学科名：		ファッション・プロモート科1,2年	コース：	単位数 2 単位	
授業のねらい		企業が求める社会人基礎力を確実に習得し、職業人としての資質向上を目指す。また、来客・電話応対を中心に企業人としての活動・慶弔等も学ぶ。授業では実習を多用するが、その経験から他者との良好な関係づくりも学んでいく。	前期 2H×15W = 30 H		
(授業概要・目標到達)			後期 2H×15W = 30 H		
			合計 60 H		
目指す検定・資格		ビジネス能力検定ジョブパス 3級	教材費	2,052円	
テキスト・教材		2024版 要点と演習ビジネス能力検定(B検)ジョブパス3級			
評価方法		検定試験・定期試験・授業態度・出席状況を総合して評価する。	その他		
時数	単元（細目）	指導内容	指導上の留意点		実時数
1	電話応対基礎	電話の特徴 受けてかけ手の基本	ビジネスマナーとして必要な基本を学ぶ		2
2	来客応対基礎	来客対応の接客マナーと言葉遣い	誠意ある来客対応のための必要な心掛け		2
3	ビジネス文書	ビジネス文章の基本 文章の種類と形成 社内文章	ビジネスマナーとして必要な基本を学ぶ		2
4	ビジネス文書	社外文書 社交文書 社外文書で使われる慣用句 封筒のあて名書きと扱い	社内文書との違い 封筒の宛名書きを実践		2
5	ビジネス文書	電子メール	メールの利便性と共にマナーも心得る		2
6	ジョブパス検定	FAX等の活用	FAXもビジネスでは多用される。簡潔な文章作成を意識する		2
7	ジョブパス検定	過去問	これまでの学習内容をもとにして問題を解く。誤り個所の再確認		2
8	ジョブパス検定	過去問	これまでの学習内容をもとにして問題を解く。誤り個所の再確認		2
9	ジョブパス検定	過去問	これまでの学習内容をもとにして問題を解く。誤り個所の再確認		2
10	ジョブパス検定	過去問	これまでの学習内容をもとにして問題を解く。誤り個所の再確認		2
11	ジョブパス検定	過去問	これまでの学習内容をもとにして問題を解く。誤り個所の再確認		2
12	電話応対実践	実習用電話機を使用しロールプレーイングを行う	テキストで学んだことを実際に行うことの難しさと状況に応じた対応の重要性を学ぶ		2
13	来客応対実践	玄関 応接室を使用して来客の出迎えから茶菓接待 見送りまでロールプレーイングする	テキストで学んだことを実際に行うことの難しさと状況に応じた対応の重要性を学ぶ		2
14	慶弔のマナー	冠婚葬祭の意味やしきたり	祝儀袋 不祝儀袋の上書きは複数の状況で書いてみる。		2
15	慶弔のマナー	季節の行事 他	自分の生活と関連付けて学ぶ。組織の中で受け継がれる行事も理解する。		2
その他	授業の他に、自宅での学習を要する				

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： 茶道 （実習）			前期	教科担任： 山本郁子		
学科名：ファッション・プロモート科			コース： FS FD KM	1年	単位数： 2 単位	
授業のねらい		伝統文化である茶道を通し、人を思いやる心、敬う心の大切さを感じ、礼儀や慣習を知り客のもてなし方、立ち振る舞いを身につける。社会に出たときに活かせるように指導する。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格					教材費 7000円	
テキスト・教材		裏千家茶道 印刷教材				
評価方法		前期：試験 出席状況 学習態度を総合して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	教材説明 道具説明	茶席の持ち方 人間心得			帛紗の扱い服装について指導。	2
2	お辞儀の仕方	真 行 草のお辞儀座礼の場合			点前の基本的動きに注意し立ち振舞いを身に付ける。	2
3	基本の所作	帛紗の扱い			帛紗をつける。懐中する 帛紗さばき、道具の清めを覚える。	2
4	基本の所作	ナツメを清める 茶筥通し 茶杓を清める			気持ちでゆっくり拭きぬく。体の正面で櫛先があがらないようにする。	2
5	盆前点前	盆略の仕組み			各道具の準備、道具の扱い方を学ぶ。	2
6	お茶の飲み方 箸の使い方 お菓子の食べ方	抹茶 菓子の頂き方を学ぶ			お菓子の盛り方。 取り方(菓子箸の場合)	2
7	盆前点前	運ばず同じ場所です			清潔第一に必要なものを使いやすく整理整頓をする。	2
8	盆前点前	運ばず同じ場所です			置き方にも注意する。	2
9	運び盆略	歩き方			歩数を考え、畳4歩で歩く。	2
10	(風炉) 前半 簿茶点前	道具運び			ナツメ 茶碗 連水について指導する。	2
11	前半 簿茶点前	柄について			道具の準備をしっかりとる。置き柄、切柄の使い分けに気をつける。	2
12	前半 簿茶点前	お茶の出るまで			道具の準備をしっかりとる。置き柄 切柄の使い分けに気をつける。	2
13	前半 簿茶点前	お茶の出るまで			道具の準備をしっかりとる。置き柄 切柄の使い分けに気をつける。	2
14	客の心得	自席に運ぶやり方			前後の方々への挨拶感謝の気持を大切にする。	2
15	茶道先史	裏千家先代の説明			茶道の目的である心と心の交流について。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。					

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： 茶道 （実習）		後期	教科担任： 山本郁子			
学科名：ファッション・プロモート 科		コース：FS FD KM		1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		伝統文化である茶道を通し、人を思いやる心、敬う心の大切さを感じ、礼儀や慣習を知り客のもてなし方、立ち振る舞いを身につける。社会に出たときに活かせるように指導する。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材		裏千家茶道 印刷教材				
評価方法		前期 試験 出席状況 学習態度を総合して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	風炉 薄茶 前半復習	前半復習			前期授業で学んだことを頭に置き動く。	2
2	風炉 薄茶 後半まで	全部通しで点前			引き柄 柄扱いを覚える。	2
3	風炉 薄茶 前半後半通し連習	一人の場合と相客と頂く場合の飲み方			頂き方の違いを学ぶ。	2
4	風炉 薄茶 前半後半通し連習	道具の拝見			ナツメ、茶杓の拝見。	2
5	風炉 薄茶 前半後半通し連習	戸の開け方			左にあけるやり方を身に付ける。	2
6	風炉 薄茶 前半後半通し連習	戸の閉め方			左に閉めるやり方を身に付ける。	2
7	風炉 薄茶 後半通し連習	小帛紗扱い			客への出し方 下げ方を身に付ける。	2
8	風炉 薄茶 前半後半通し連習	茶碗の下げ方			茶碗を重ねない茶碗の下げ方を心がける。	2
9	茶の精神	和敬清寂の説明			茶道の精神を理解する。	2
10	茶の歴史	千利休の説明			人物について茶道のつながりを理解する。	2
11	軸の扱い	紐の結び方			扱い方を覚える。	2
12	箱	紐の結び方			箱の種類により結び方の違いを覚える。	2
13	薄茶点前	御茶の運び方 茶会練習 お茶の下げ方			帛紗を使いお客に出し下げ方も学ぶ。	2
14	薄茶点前	御茶の運び方 茶会練習 お茶の下げ方			帛紗で客に出し 下げ方も学ぶ。	2
15	薄茶点前	御茶の運び方 茶会練習 お茶の下げ方			帛紗で客に出し 下げ方も学ぶ。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。					

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：キャリア実習 1（実習）			後期	教科担任： クラス担任		
学科名： ファッション・プロモート科		コース：		1年	単位数：	2 単位
授業のねらい		外部組織での就労体験、ボランティア体験等を通し、他者とのコミュニケーション力や、組織内での責任、協調性を学び、就労意欲と職業観を養う。		前 期	H× W= H	
		実習前後は、諸手続き・報告を滞りなく実行し、事務力を高める。		後 期	30H×2W=60H	
		自分自身の今後の成長課題を再認識し、在学中の向上を目指す。		合 計60	H	
目指す検定・資格		目標 特になし		教材費		
		取得可能な検定 特になし				
テキスト・教材		特になし				
評価方法		後期 所定時間の学外実習・レポート・報告を総合して評価		その他		
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点		実時数
1	オリエンテーション	年度の実習概要説明		実習の目的を理解して臨めるように学年・学科共通で理解する		2
		実習目的・実習規程		新入生は特に初めての履修なので、担任がアドバイスを行う。		
2	学外実習	実習前指定の届け出を行う。				56
		実習 所定の時間数以上を実習する。				
		実習後所定報告書の提出				
3	報告会	全校報告会		プレゼンテーションのトレーニングの場であるとともに、他者の報告を積極的に傾聴し、自己の課題として取り入れる。		2
		他学生に自分自身の実習内容・今後の課題等を報告する				

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：Photoshop 1（実習）		前期	教科担任：須田 香奈子		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：	1年	単位数：2 単位	
ICTクリエイト科（合同）					
授業のねらい		代表的なペイント系ソフトである「Adobe Photoshop」の基本的な操作を学習するとともに、アプリケーションを使用したデザインワークを行なうことで、現場で生かされる実践的な能力を修得する。		前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格				教材費	
テキスト・教材		We Net PhotoshopクイックマスターCS5/CS6			
評価方法		前期 課題、授業態度、出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	Photoshop機能概要	Photoshop機能、起動から終了、作業エリアと画面表示		Photoshop機能について解かり易い解説を心がけ、興味を煽る	2
2	環境設定・選択	環境設定、パフォーマンス、各選択ツール、選択範囲		難しい、という印象を持たせないようにする	2
3	その他の選択方法	クイックマスク・アルファチャンネル、選択範囲の保存と読み込み		繊細なこだわりが結果につながるという体験	2
4	課題 1	クイックマスクとアルファチャンネル		細部にこだわった丁寧な作業が結果に結びつくことを実感させる	2
5	画像解像度とサイズ、コピー&ペースト、画像の変形	画像解像度、カット・コピー・ペースト、拡大・縮小・回転・歪み・ワープなど		Photoshopは簡単かつ面白い、と強く印象付けたい	2
6	カラーモードと色調補正 課題2	様々なカラーモード、トーン・コントラスト・色相・彩度、ポスタリゼーションなど 料理写真の加工		“出来る”という自信作り	2
7	ペイント	いろいろなペイント系ツール		簡単な課題を出すことでよりPhotoshopに親しみを持てるよう工夫する	2
8	レタッチ	いろいろなレタッチ系ツール、ペイント系コマンド		様々なツールの生み出す結果を楽しむような授業づくり	2
9	レイヤー	レイヤー機能、調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー		苦手意識を待たないよう、体験の中でレイヤーに親しませる	2
10	パスとシェイプ	パスの作成と編集		失敗も含め楽しみ、チャレンジ精神を培う	2
11	テキスト	テキストの入力と編集、文字加工		より充実した知識と技能を身につけさせる	2
12	フィルター 画像の入出力	フィルターの概要と使用、保存形式		より充実した知識と技能を身につけさせる	2
13	課題3-1	写真加工		自分自身の撮影した写真の加工を通して、Photoshopをより身近なものに感じて貰いたい	2
14	課題3-2	写真加工		楽しみながら課題を制作し、Photoshopへの理解を深める	2
15	課題3-3	写真加工と講評		Photoshopを自分のものとし、今後も気楽に扱えるツールと感じて貰えるよう導く	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：Photoshop 1（実習）		後期	教科担任：須田 香奈子		
学科名：ファッション・プロモート科 ICTクリエイト科(合同)		コース：	1年	単位数：2 単位	
授業のねらい		代表的なペイント系ソフトである「Adobe Photoshop」の基本的な操作を学習するとともに、アプリケーションを使用したデザインワークを行なうことで、現場で生かされる実践的な能力を修得する。		前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格				教材費	
テキスト・教材		We Net PhotoshopクイックマスターCS5/CS6			
評価方法		後期 課題、授業態度、出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	フィルター、 画像の入出力	アルファチャンネルを使ったフィルター、保存形式など		前期の学習をふまえた導入とする	2
2	フォトレタッチ	色調補正ツール、写真の補正		演習問題に取り組みながらフォトショップの可能性について知る時間とする	2
3	ロゴデザイン	ロゴデザイン、カスタムシェイプでロゴデザイン		視点を変えたフォトショップのワザで楽しむ	2
4	課題4	オリジナルロゴ作成		Photoshop＝楽しいというイメージ作り	2
5	食べ物写真の補正	ノイズを抑える、ゴミの除去、色調補正、特定色の彩度調整		前期課題の食べ物写真とはまた違った工夫を紹介したい	2
6	曇天を夕暮れに 課題5	傾きの修正、特定部分の自色調変更 イラストのカラーバリエーション		よりPhotoshopに親しみを持てるよう工夫する	2
7	カード&ステーションアリー	アクション 立体ポップ		工程の記録・再生の便利さを経験する	2
8	フィルターで作る ブックカバー	イラスト風に加工した写真と、フィルターで生成したパターンテクスチャーを使いブックカバーを作る		教科書掲載の作品制作過程をなぞり、気軽にモノづくりに親しむ	2
9	フィルターで作る ブックカバー	自分で撮った写真を使いブックカバーを作る		素材集めから制作の過程を楽しむ	2
10	フィルターで作る ブックカバー	自分で撮った写真を使いブックカバーを作る		自分が集めた素材から実用品が出来上がる喜びを知る	2
11	フォトコラージュ	写真の合成やコラージュ		実技を通してより深い技術の定着へとつなげる	2
12	自由制作	ここまでの学習をふまえた作品制作 (ポスター、カード、ブックカバーなど)		自由制作を通し集大成といえる作品作りへと導く	2
13	自由制作	ここまでの学習をふまえた作品制作 (ポスター、カード、ブックカバーなど)		自由制作を通し集大成といえる作品作りへと導く	2
14	自由制作	ここまでの学習をふまえた作品制作 (ポスター、カード、ブックカバーなど)		自由制作を通し集大成といえる作品作りへと導く	2
15	自由制作	ここまでの学習をふまえた作品制作 と講評会		自由制作を通し集大成といえる作品作りへと導く	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：フラワーアレンジ1（実習）			前期		教科担任：齋藤美英（実務経験教員）				
学科名：ファッション・プロモート科			コース：FD		1年		単位数：2単位		
授業のねらい		フラワーアレンジメントデザイナーの実務経験を活かし、フラワーデザインの基礎を指導する。生花を使ってアレンジメント・コサージュ・ブーケなど日常様々な場面で花を飾り生活をより豊かにする技術を学び習得する。				前 期	2H×15W=30H		
						後 期	2H×15W=30H		
						合 計	60H		
目指す検定・資格		目標				教材費			
		取得可能な検定 フラワー装飾技術検定3級							
テキスト・教材		フラワー装飾技能検定試験テキスト 生花							
評価方法		前期： 試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。				その他			
時数	単元		授業内容（細目）				学習上の留意点		実時数
1	アレンジメント説明		花を扱うときの注意点				アレンジメントを理解する。		2
			道具について				作り方のポイントをしっかりとつかむ。		
2	花束		花束を均等に配置し葉物をクッションとして円形に作成する				楽しみながら花の配置をおこない基本を身に付ける。スパイラルテクニックを覚える。		2
3	花束		花束を均等に配置し葉物をクッションとして円形に作成する				展開は150度から190度になるように制作する。		2
4	リボン		ループの形 ループの長さ とめつけ用リボンの形				汚れたりしわがよったりしない様に花束を製作する前に作る。		2
5	リボン		ループの形 ループの長さ とめつけ用リボンの形				左右対称に寸法を測定して製作する。		2
6	バスケットアレンジ		大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作				吸水性フォーム 段階の骨格を理解する。		2
7	バスケットアレンジ		大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作				底辺が水平になるようにする。花を平均に配置する。		2
8	バスケットアレンジ		大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作				バラ(大輪系)のみ繰り返し練習する。底辺が水平になるようにする。花を平均に配置する。		2
9	バスケットアレンジ		大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作				バラ(大輪系)のみ繰り返し練習する。		2
10	ブートニア		二等辺三角形のブートニア				花の向きに注意する。 機能的、安全性 フィット感に注意して製作する。		2
11	ブートニア		二等辺三角形のブートニア				棒とりつけのワイヤーに注意する。 機能的、安全性 フィット感に注意して製作する。		2
12	課題を作る		花束の製作				決められた寸法。 花の位置 花の組み方		2
13	課題を作る		花束の製作				経過観察をしながら進める。		2
14	課題を作る		花束の製作				正面 側面 背面すべて気をつける。		2
15	課題を作る		花束の製作				楽しみながら、基本の形を覚える。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す								

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：ファッションデザイン1（講義）		前期	教科担任： 沼澤 玲菜(実務経験教員)		
学科名：ファッション・プロモート		コース：FS KM		1、2年	単位数： 2単位
授業のねらい	イラストレーターの実務経験を活かし、クリエイティブな感性と想像力の強化を図り魅力的なデザイン画が描けるように指導する。			前 期	2H×15W=30H
				後 期	2H×15W=30H
				合 計	60H
目指す検定・資格	目 標			教材費	
	取得可能な検定				
テキスト・教材	ファッションデザインテクニック				
評価方法	前期：課題、授業態度、出席状況を総合して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点		実時数
1	ドローイング基礎 1	テーマ好きな物+春	自由に描く		2
2	自己紹介	自己紹介カード作成 発表	自己開示 自己表現 コミュニケーション能力を養う		2
3	似顔絵	ペアになってお互いの似顔絵を描く	相手をよく観察して描く		2
4	スケッチ 1	花のスケッチ	よく観察して描く		2
5	クロッキー 1	3分クロッキー	複のコーディネートや素材を観察		2
6	スケッチ2	3分クロッキー	複のコーディネートや素材を観察		2
7	クロッキー2	3分クロッキー	複のコーディネートや素材を観察		2
8	スケッチ 3	3分クロッキー	複のコーディネートや素材を観察		2
9	クロッキー 3	3分クロッキー	複のコーディネートや素材を観察		2
10	ドローイング 1	8頭身のプロポーション	コンテスト提出に向けて		2
11	ドローイング2	着装	人体と布の関係 光と影の方向性と素材感の出し方の研究		2
12	ドローイング3	ポーズと着装	ドレープ シワの出し方 その表現方法を試す		2
13	ドローイング4	彩色	絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験		2
14	ドローイング5	彩色	絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験		2
15	ドローイング6	彩色	絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：ファッションデザイン1（講義）			後期		教科担任：沼澤 玲菜（実務経験教員）				
学科名：ファッション・プロモート			コース：FS KM			1年	単位数：	2 単位	
授業のねらい		服飾デザイナーの実務経験を活かし、ファッションデザインに必要な基礎を、デザイン画として表現することを通じて学び指導する。さらにクリエイティブな感性と企画力の強化をはかり、実践的なビジネス力を身につけることを目指す。				前 期	2H×15W=30H		
						後 期	2H×15W=30H		
						合 計	60H		
目指す検定・資格		目標 コンテスト				教材費			
		取得可能な検定 ファッションビジネス能力検定試験 3 級							
テキスト・教材		ファッションデザインテクニック							
		ファッションビジネス1（3級準拠）							
		ファッションビジネス能力検定試験 3 級項目別試験問題・解答集							
評価方法		後期： 課題、授業態度、出席状況を総合して評価する				その他			
時数	単元		授業内容（細目）			学習上の留意点			実時数
1	アイラム平図 1		作成可能なデザイン画の基礎として カットソー、ブラウス			製図制作方法の情報がわかるデザイン画作成の方法を基礎から学ぶ。			2
2	アイラム平図 2		シャツ スカート 平面図 アイテム研究			アイテムの種類や歴史を調べ描き方のバリエーションを広げる。			2
3	アイラム平図 3		ワンピース 平面図 アイテム研究			上下のバランスのとり方を寸法の割り出し方を学ぶ。			2
4	アイラム平図 4		ジャケット スーツ 平面図 アイテム研究			伝統的な服作りの情報の代表であるジャケットを学ぶ。			2
5	アイラム平図 5		ジャンパー 平面図 アイテム研究			機能性による衣服の変化 デザインを考慮する。			2
6	アイラム平図 6		パンツ コート 平面図 アイテム研究			コートの種類や歴史も一緒に学ぶ。			2
7	アイラム平図 7		着色 素材の描き分け			柄 テック 千鳥 ツイード 皮などの素材を描いてみる。			2
8	ドローイング5		ポーズと着装の基礎			ポーズをとった時の服の変化			2
9	ドローイング6		ポーズバリエーション			様々なポーズを描いてみる。			2
10	ドローイング7		ポーズバリエーション			様々なポーズを描いてみる。			2
11	ブランド創造 1		イメージ SD法 配色			イメージを表現する2つの配色をする。			2
12	ブランド創造2		配色と形、素材のイメージ			SD法の表上で分析する。さらに形と素材のイメージを分析する。			2
13	ブランド創造3		ブランドを調べる			ブランドのコンセプト、デザイン企画、販売を調べる。			2
14	企画書作成 1		ブランドを創る			企画書の作成 ワークシート企画書を作ってみる。			2
15	企画書作成 2		ブランドを創る			ブラッシュアップ 発表			2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す								

教科名：アロマセラピー1（講義）		前期	教科担任：山本絵里子（実務経験教員）	
学 科 名 ファッション・プロモート科		コース：FD	1年	単位数：2単位
授業のねらい		指導者の下、アロマセラピーとは何かを理解し健康に日常生活の質を上げるために香りをどのように活用していったらよいかの基礎を学ぶ。2年次5月の検定取得のための基礎知識を学ぶ。また、マッサージ（トリートメント）の基礎的技術手法を身につける。		
目指す検定・資格		目標 日本アロマ環境協会1級 2級アロマセラピー検定（2年次5月受験） 取得可能な検定 日本アロマ環境協会アドバイザー（2年次6月講習取得） 環境カオリスタ検定		
テキスト・教材		日本アロマ環境協会1級・2級アロマセラピー検定テキスト アロマ検定問題集合格テキスト&模擬問題 アロマセラピー検定公式問題集 印刷教材		
評価方法		前期：試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	アロマセラピーの基本	アロマセラピーを安全に使うための注意と利用法 実習 芳香浴	健康に活かし、安全に楽しむためにプロとして指導するために何度も注意を確認しておく。	2
2	アロマセラピーを生活に取り入れる。	空間づくりのためにアロマの効果を活用しながら空間を清潔に保つ。	ただの空間演出だけでなく、心理的、科学的根拠を理解して体にも環境にもやさしいアロマを使う。	2
3	エッセンシャルオイルの特性	エッセンシャルオイルの化学性と性質の違いを理解する。	エッセンシャルオイルのそれぞれの香りから受ける印象を大切にし、特色を覚える。	2
4	基材の化学性	有機化合物とは何か、基材の種類と特性を理解し、使う目的や肌質に合わせる。	エッセンシャルオイルの成分が塩基により特性、名称が変わることを理解する。	2
5	実習	バスソルトを作る。 重曹、クエン酸の役割と効用	症状を改善するたにエッセンシャルオイルと基材の組み合わせを応用する。	2
6	実習	香りで涼しさを演出する手法を学ぶ ハーブアレンジメント+保水ジェル+ミント	体感温度にも影響を及ぼすことができる。より涼しさを演出する。	2
7	健康学	身体を整えるしくみや身体作り（栄養、運動、病気）を知る。	人間の持つ恒常性を十分に引き出し、健康を守るために栄養、運動、休養が必要である。	2
8	健康学 内臓	身体の器官（内臓）について知る	内臓、器官がどのような働きで、どこにあるか、自分の体に責任を持つ	2
9	健康学 病気	メタボリックシンドローム、ロコモシンドローム高血圧、梗塞などどのような成人にどんな病気が起こるかを知る	中高年以降起こりやすい病気の原因と予防について知る。	2
10	健康学 女性特有の病気	女性に起こりやすい、女性器官と特有の病気について理解する。	更年期以降女性のホルモンバランスがくずれ起こる病気について知る。	2
11	健康学 神経	交感神経と副交感神経、脳と神経についてしくみを学ぶ	言葉は聞いたことがあるが理解できていない部分を理解する。	2
12	健康学 ストレス	ストレスとは何か、ストレスの軽減、コントロールの方法について理解する（自律神経の働き含む）	ストレスの軽減についてアロマセラピーが心理的に有効であることを知る。	2
13	健康学 睡眠	健康を守るためには休養と睡眠が必要であり、睡眠についてのしくみを理解する。睡眠のサイクル、NON-REM睡眠の特色を知る。	神経との関係、人間にとって健康維持に大切な睡眠であることを理解する。	2
14	健康学 運動効果	運動効果について理解する。 運動の種類と効果を知り、病気の予防と改善に活かす。	病気を予防するうえでも、生活の質を上げるうえでも必要な知識を得る。	2
15	健康学 栄養	栄養バランスを理解する。 6大栄養素とは、カロリーとの関係など基礎的知識を得る。	人間が生きていくために食事の栄養不可欠であり、働きについて認識を持たせる。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す			

教科名： アロマセラピー （講義）			後期	教科担任： 山本 絵里子 （実務経験教員）		
学 科 名 ファッション・プロモート科		コース：FD		1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		指導者の下、アロマセラピーとは何かを理解し健康に日常生活の質を上げるために香りをどのように活用していったらよいかの基礎を学ぶ。2年次5月の検定取得のための基礎知識を学ぶ。また、マッサージ（トリートメント）の基礎的技術手法を身につける。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 日本アロマ環境協会1級、2級アロマセラピー検定（2年次5月受験） 取得可能な検定 日本アロマ環境協会アドバイザー（2年次6月講習取得） 環境カオリスタ検定			教材費	
テキスト・教材		日本アロマ環境協会1級・2級アロマセラピー検定テキスト アロマ検定問題集合格テキスト&模擬問題 アロマセラピー検定公式問題集 印刷教材				
評価方法		後期：試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	健康学 ダイエット	前回学んだ運動と栄養を活用し、健康的なダイエットの正しい知識が得られるよう理解する。			学んだ知識を総括し、積極的に健康管理でき、アドバイスできるようにする。	2
2	健康学 皮膚	アロマセラピーが体内に浸透する経路として皮膚から侵入し血液循環する重要な組織である。			日常のスキンケアアドバイスができるようにする。	2
3	健康学 骨格	骨格について正しく覚える			自分の体でありながら、どこでどうつながり、動くのか知らない。ボディトリートメントをするにあたり、筋肉や骨の位置、リンパを流すために正しい知識を習得する。	2
4	健康学 筋肉	筋肉について正しく覚える			自分の体でありながら、どこでどうつながり、動くのか知らない。ボディトリートメントをするにあたり、筋肉や骨の位置、リンパを流すために正しい知識を習得する。	2
5	健康学 リンパ	リンパについて正しく覚える			自分の体でありながら、どこでどうつながり、動くのか知らない。ボディトリートメントをするにあたり、筋肉や骨の位置、リンパを流すために正しい知識を習得する。	2
6	実習	セルフコスメとしてボディクリームを作る。 ビーズワックス、シアバターを作ってコスメ作り			カサツキを抑え、保湿する冬の体メンテナンスのためクリームを作る。	2
7	ボディトリートメント 講義	手技の種類と効果、注意事項などボディトリートメントの基礎技術を学ぶ。			指の使い方、腕の動かし方、施術者の姿勢など効果と共に基礎知識を得る。	2
8	ボディトリートメント 実習 顔	セルフトリートメントの技術を学ぶ ①顔のトリートメント			基礎知識をもとにパーツ毎に分けてトリートメント技術を習得し、全身へとつなげていく。	2
9	ボディトリートメント 実習 四肢	セルフトリートメントの技術を学ぶ ②四肢のトリートメント			基礎知識をもとにパーツ毎に分けてトリートメント技術を習得し、全身へとつなげていく。	2
10	ボディトリートメント 実習	下半身(前面)のマッサージ基礎を学ぶ			基礎知識をもとにパーツ毎に分けてトリートメント技術を習得し、全身へとつなげていく。	2
11	ボディトリートメント 実習	上半身(前面)のマッサージ基礎を学ぶ				2
12	ボディトリートメント 実習 全身	全身のマッサージを習得する			基礎知識をもとにパーツ毎に分けてトリートメント技術を習得し、全身へとつなげていく。	2
13	ボディトリートメント 実習 全身	全身のマッサージを習得する				2
14	自分だけのオリジナルの香りを作る	香りの要素ノートを学び精油の香りの特徴と持続時間を考慮し、自分だけのオリジナルの香りをブレンドする。			学んできたことを総合し目的に合った香りを調合する。	2
15	自分だけのオリジナルの香りを作る	香りの要素ノートを学び精油の香りの特徴と持続時間を考慮し、自分だけのオリジナルの香りをブレンドする。			学んできたことを総合し目的に合った香りを調合する。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名：着付け1（実習）			前期	教科担任：堀川 栄美子			
学科名：ファッション・プロモート			コース：FS KM		1年	単位数：2単位	
授業のねらい			和裁研究所勤務での実務経験を活かし、着物の核やTPOを理論として理解を深める着物を美しく着るための補正の方法を学び、着用した後のたたみ方、しまい方、手入れ方法まで習得する。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格						教材費	
テキスト・教材			和装の道テキスト				
評価方法			前期： 試験、授業態度、出席状況、道具の準備等を総合して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	着付の道具	着付に必要な道具について学ぶ。			着付に必要な道具を適切に選ぶ力を身につけ、洋服を着用する時との違いに興味をいけるようにする。		2
2	着物・帯の種類	着物や帯にどのような種類のものがあるのか学ぶ。			様々な着物、帯の違いを正確に把握できるようにする。		2
3	着物・帯の種類	TPOに応じて、どのような着物、帯を着用するのが、相応しいかを学ぶ。			季節に合う着物、着物の格の違いに興味を持ちながら学べるようにする。		2
4	補正①	補正について学ぶ。			体の凹凸を修正する意義について知り、着物と洋服の違いに気づけるようにする。		2
5	補正②	自分の体形に合う補正を学ぶ。 補正着を製作する。			タオルコットンをあてて補正をし、美しい体型づくりを身につけられようにする。		2
6	補正③	自分の体形に合う補正を学ぶ。 補正着を製作する。			タオルコットンをあてて補正をし、美しい体型づくりを身につけられようにする。		2
7	浴衣の製作	自分の寸法を割り出し、裁断する。					2
8	浴衣の製作	標をつける。			自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。		2
9	浴衣の製作	袖縫い①					2
10	浴衣の製作	袖縫い②					2
11	浴衣の製作	背縫い、揚げ縫い			洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。		2
12	浴衣の製作	衿付け、始末					2
13	浴衣の製作	衿付け①					2
14	浴衣の製作	衿付け②					2
15	浴衣の製作	衿始末①					2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す						

教科名：着付け 1 （実習）			後期	教科担任：堀川 栄美子			
学科名：ファッション・プロモート		コース：FS KM		1年	単位数：2 単位		
授業のねらい		和裁研究所勤務での実務経験を活かし、着物の核やTPOを理論として理解するよう指導する。 着物を美しく着るための補正の方法を学び、着用した後のたたみ方、しまい方、手入れ方法まで習得する。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H		
目指す検定・資格					教材費		
テキスト・教材		和装の道テキスト					
評価方法		後期： 試験、授業態度、出席状況、道具の準備等を総合して評価する			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	浴衣の製作	衿の始末			自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。		2
2	浴衣の製作	脇縫い			自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。		2
3	浴衣の製作	脇始末①			自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。		2
4	浴衣の製作	脇始末②			自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。		2
5	浴衣の製作	脇始末③			自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。		2
6	浴衣の製作	裾縫い			自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。		2
7	浴衣の製作	袖付け			自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。		2
8	浴衣の製作	袖始末			自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。		2
9	浴衣の製作	仕上げ			自分の寸法に合わせた浴衣を製作することで、着やすさや着崩れ防止はどのようなことか実感できるようにする。洋服とは違った、平面の裁断や、標のつけ方、始末の仕方にも興味を持てるよう留意する。		2
10	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）			着崩れを防ぐには、苦しくない着付けとはどのようなものを理解できることに留意する。		2
11	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）					2
12	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）					2
13	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）					
14	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）					
15	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）					2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す						

教科名： 和服構成・製作1（基礎）（講義）		通期	教科担任： 池田恭仁子(実務経験教員)		
学科名：ファッション・プロモート 科		コース：FS KM	1年	単位数： 2単位	
授業のねらい		和裁研究科で勤務経験のある教員が、その経験を活かして、和・洋服がいかにして販売されるかまでのプロセスを指導する。お客様の心理をよく理解してうえでの販売の技術を身に着ける。1年時に学識をさらに深めることを目標とする。		前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		ファッション販売能力検定2級 和裁技術検定		教材費	
テキスト・教材		ファッション販売Ⅱ 和裁技能検定 ファッション販売能力検定試験問題集2級（一般財団法人日本ファッション教育振興協会）			
評価方法		前期：試験 授業態度 出席状況を総合して評価する 後期： 同上		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	ファッション販売知識	ファッション販売の流れと販売スタッフに求められる資質について		販売の形が多様化する中で高まる接客の重要性を理解し、販売スタッフに求められる資質とはどのようなものかを探る。	4
2	ファッション販売知識	販売スタッフの役割		販売スタッフが担う役割について知る。	4
3	ファッション販売知識	販売に必要な情報		販売スタッフに必要な様々な情報について考える。	4
4	ファッション販売知識	顧客づくりの重要性と管理術		顧客づくりの重要性と情報の管理の方法と必要性を学ぶ。	4
5	ファッション販売知識	顧客づくりの重要性と管理術		顧客づくりの重要性と情報の管理の方法と必要性を学ぶ。	4
6	ファッション・マーケティング知識	マーチャンダイジングの知識と実践		マーチャンダイジングの基礎的な知識を身につけるようにする。	4
7	ファッション・マーケティング知識	リテールマーチャンダイジング		ファッション店舗の視点で具体的なリテールマーチャンダイジングについて理解を深める。	4
8	ファッション・マーケティング知識	デジタルマーケティング		ICTを活用したマーケティング活動について理解を深める。	4
9	店舗運営管理	店舗運営管理の基本		店舗運営に関わる業務を学び、そのために必要な知識を蓄える。	4
10	店舗運営管理	店舗係数管理		店舗運営の貴重な資料となる係数の管理方法について具体例を見ながら理解する。	4
11	店舗運営管理	店舗の人事管理 ～スケジュール管理・人事管理の関連法規～		活気ある売り場づくりのためのワークシフトづくりや人事管理を円滑にするための労働法などを学ぶ。	4
12	店舗運営管理	店舗の人事管理 ～人材育成・ミーティング～		スタッフ一人ひとりを計画的に育成するための研修の方式などの知識を深める。	4
13	店舗の運営管理	コンプライアンス		企業のコンプライアンスの重要性などについて理解を深める。	4
14	検定対策	過去問題を解いてみる。		問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の強化を図る。	4
15	検定対策	過去問題を解いてみる。		問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の強化を図る。	4
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：和服構成・製作2（基礎）（実習）			前期	教科担任：池田恭仁子(実務経験教員)		
学科名：ファッション・プロモート 科			コース： KM		1年	単位数：8 単位
授業のねらい		和裁研究所での実務経験を活かし基本の運針から始め、和服について必要な理論と実技を指導する。自分の体形にあった着物を仕立て上げる中で、竹田式和裁の着やすく、着崩れしない、丁寧な仕立ての			前 期 8H×15W=120H 後 期 8H×15W=120H 合 計 240H	
目指す検定・資格		和裁技術検定（初級）			教材費	
テキスト・教材		和裁教科書からの抜粋プリント				
評価方法		前期： 作品の提出、授業態度、出席状況、実技等を総合して評価する。			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	用具・布地の扱い方 和裁学習の準備 基本縫い	和裁に必要な針、糸などの用具について学ぶ。また、学習を始めるにあたっての環境整備をする。			和服を仕立てる時に材料にあった用具の選び方、糸の選定などを迷わないように指導する	8
2	基本縫い	運針、留め方、縫い方、紵け方の各種を学ぶ。			和裁を学ぶ基本となる事柄の学習なので、正しく身につけることに留意する。	8
3	基本縫い	運針、留め方、縫い方、紵け方の各種を学ぶ。				8
4	肌襦袢	晒しを使い、肌襦袢を作成する。				初めての作品になるので丁寧な作業が行えるよう留意する。
5	肌襦袢	晒しを使い、肌襦袢を作成する。			8	
6	肌襦袢	晒しを使い、肌襦袢を作成する。			8	
7	肌襦袢	晒しを使い、肌襦袢を作成する。			8	
8	肌襦袢	晒しを使い、肌襦袢を作成する。			8	
9	大裁女物ひとえ長着 （浴衣）	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。 ～各部の名称、寸法、柄合わせ～			体型に合った寸法の割り出し方や、柄の合わせ方を正しく身につけられるようにする。	8
10	大裁女物ひとえ長着 （浴衣）	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。 ～裁断、標付け～			電気鋺を使った標のつけ方のコツを身につけられるようにする。	8
11	大裁女物ひとえ長着 （浴衣）	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。 ～縫い方～			単衣長着の縫い方、始末の仕方などを正しく身につけられるようにする。	8
12	大裁女物ひとえ長着 （浴衣）	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。 ～縫い方～				8
13	大裁女物ひとえ長着 （浴衣）	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。 ～縫い方～				8
14	大裁女物ひとえ長着 （浴衣）	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。 ～縫い方～				8
15	大裁女物ひとえ長着 （浴衣）	自分の寸法にあった浴衣を仕立てる。 ～縫い方、仕上げ、たたみ方～				8
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。					

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： 和服構成・製作2（基礎）（実習）			後期	教科担任：池田恭仁子(実務経験教員)		
学科名：ファッション・プロモート 科			コース： KM	1年	単位数：	8 単位
授業のねらい		和裁研究所での実務経験を活かし、基本の運針から始め、和服について必要な理論と実技を指導する。			前 期	8H×15W=120H
		自分の体形にあった着物を仕立て上げる中で、竹田式和裁の着やすく、着崩れしない、丁寧な仕立ての方法を身につける。			後 期	8H×15W=120H
					合 計	240H
目指す検定・資格		和裁技術検定（初級）			教材費	
テキスト・教材		和裁教科書からの抜粋プリント				
評価方法		後期：作品の提出、授業態度、出席状況、実技等 総合して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。（ミシン仕立て） ～各部の名称、寸法、柄合わせ～			女物との違いを実感しながら学習することに留意する。	8
2	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。 ～裁断、標付け～				8
3	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。 ～縫い方～				8
4	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。 ～縫い方～				8
5	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。 ～縫い方～				8
6	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。 ～縫い方～				8
7	大裁男物ひとえ長着（浴衣またはウール）	男物の単衣を仕立てる。 ～縫い方～				8
8	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～各部の名称、寸法、柄合わせ～			長襦袢の寸法の割り出し方や、柄の合わせ方を正しく身につけられるようにする。	8
9	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～裁断、標付け～			電気鋺を使った標のつけのコツを身につけられるようにする。	8
10	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～縫い方～			長襦袢の縫い方、始末の仕方などを正しく身につけられるようにする。	8
11	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～縫い方～				8
12	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～縫い方～				8
13	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～縫い方～				8
14	長襦袢	自分の寸法にあった長襦袢を仕立てる。 ～縫い方～				8
15	和裁技術の理論学習	和服地の表地と裏地、産地、紋様について学ぶ。				8
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。					

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：洋服構成・製作1（基礎）（講義）			前期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）			
学科名：ファッション・プロモート科			コース：FS		1・2年	単位数：2単位	
授業のねらい		和裁研究所での勤務経験をいかし指導する。ファッションの中心となる洋服が製作され販売されるまでのプロセスを理解し、お客様の心理をよく理解したうえでの販売の技術を身に付ける。合わせて、商品の名称や素材などのちしきも身に付			前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H		
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 ファッション販売能力検定3級			教材費		
テキスト・教材		ファッション販売Ⅲ ファッション販売能力検定試験問題集3級					
評価方法		前期 試験、授業態度、出席状況を総合して評価する			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	ファッション販売知識	ファッションとは何かを学ぶ			ファッションとは何か、興味を持って学べるよう留意する。		2
2	ファッション販売知識	販売スタッフに求められる知識と技術を学ぶ			心地よく的確なサービスの提供を自分の身に置き換えて考えられよう留意する。		2
3	ファッション販売知識	ファッション小売業の業種と業態を学ぶ			業種、業態各々の違いを整理して把握できるよう留意する。		2
4	ファッション販売知識	お客様にとって店とは何かを学ぶ			店が持つ2つの機能やお客様に提供するサービスについて整理して学べるようにする。		2
5	ファッション販売知識	お客様について学ぶ			お客様から顧客になるプロセスを、順をおって学べるようにする。		2
6	ファッション販売知識	ライフスタイルショップの販売知識			ライフスタイルショップとは何か具体例を探しながら学べるよう留意する。		2
7	ファッション・マーケティング知識	マーケティングの基礎知識を学ぶ			マーケティングの用語を整理しながら学べるよう留意する。		2
8	ファッション・マーケティング知識	ファッション店舗のマーケティング			ファッション小売業にとっての店舗マーケティングの重要性が理解できるよう留意する。		2
9	ファッション・マーケティング知識	情報収集の目的と必要性を学ぶ			集めた情報の利用の仕方まで繋がるよう留意する。		2
10	ファッション販売業務	販売業務と付帯業務について学ぶ			ファッション販売における見えにくい部分の仕事があることを理解し、興味が持てるよう留意する。		2
11	ファッション販売業務	備品管理について学ぶ			どのような備品が必要か、どのように利用するかを理解できるようにする。		2
12	ファッション販売業務	商品管理について学ぶ			様々な管理の仕方を整理して学べるよう留意する。		2
13	ファッション販売業務	店舗係数知識について学ぶ			売上高、客単価、前年比、予算比などの計数を正しくつかむ力が身に着くようにする。		2
14	ファッション販売業務	キャリアプランについて学ぶ			ファッション販売に携わる人キャリアパスにはどのようなものがあるのかを知り、将来のキャリアプランに活かせるようにする。		2
15	検定対策	過去問題を解いてみる。			問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の教科を図る。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す						

教科名：洋服構成・製作1（基礎）（講義）			後期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科			コース：FS		1・2年	単位数：2単位
授業のねらい		和裁研究所での勤務経験をいかし指導する。ファッションの中心となる洋服が製作され販売されるまでのプロセスを理解し、お客様の心理をよく理解した上での販売の技術を身につける。合わせて、商品の名称や素材などの知識も身につける。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 ファッション販売能力検定3級			教材費	
テキスト・教材		ファッション販売Ⅲ ファッション販売能力検定試験問題集3級				
評価方法		後期 試験、授業態度、出席状況を総合して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	ファッション販売技術	販売スタッフのマナーを学ぶ			身だしなみや言葉遣いの大切さを学び、日々の生活から心がけていけるようにする。	2
2	ファッション販売技術	購買心理の理解と買い物の仕方を学ぶ			来店から購入に至る心の動きを学び、お客さにとって心地よい接客とは何かを考える。	2
3	ファッション販売技術	接客の基本とコンサルティングサービス			お客様にとって価値あるアドバイスとはどのようなものなのかを考える。	2
4	ファッション販売技術	包装と贈答のマナーを学ぶ			時代にあった包装の仕方や、伝統的な包装の仕方を習得する。	2
5	ファッション商品知識	アイテムの知識			個々のアイテムの名称や特徴を正確に把握することに留意する。	2
6	ファッション商品知識	インナーウェアと服飾雑貨			インナーウェアと様々な服飾雑貨の名称や特徴を正確に把握することに留意する。	2
7	ファッション商品知識	素材の種類と加工			衣服に使われる素材とその加法などに興味を持って学べるよう留意する。	2
8	ファッション商品知識	シルエットの知識			衣服のシルエットの変遷や、それぞれの魅力について興味を持って学べるよう留意する。	2
9	ファッション商品知識	衣服の構成とディテール			衣服のデザインを支えるディテールの名称や役割を理解し、正しく説明できるようにする。	2
10	ファッション商品知識	柄の種類と特徴			衣服の第一印象を決める色や柄を効果的に使いこなせるようになることに留意する。	2
11	ファッション商品知識	サイズの知識			様々なサイズ表記の基準を理解し、お客様の体形を判断して適切なサイズを選択できるようになることに留意する。	2
12	ファッション商品知識	商品の品質管理			万が一製品に不備があった場合に備えて、その種類や原因、対処法を知る。	2
13	店舗演出・VP展開	店舗の環境づくりについて学ぶ			お客様の目に映るビジュアル表現としてのお店の在り方を考察できるよう留意する。	2
14	店舗演出・VP展開	マーチャンダイズプレゼンテーションについて学ぶ			商品のディスプレイについて、具体例を見ながら学ぶことに留意する。	2
15	検定対策	過去問題を解いてみる。			問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の教科を図る。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：洋裁構成・製作2（基礎）（実習）		前期	教科担任：越尾薫（実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FS	1年	単位数：8単位
授業のねらい		縫製会社での実務経験がある指導者のもと、製図、裁断、縫製、の基礎レベルの技術を学び知識や技術縫製方法を学び制作プロセスを理解する。		前期 8H×15W=120H 後期 8H×15W=120H 合計 240H
目指す検定・資格		洋裁技術検定試験(初級)		教材費
テキスト・教材		文化ファッション大系 服飾造形講座 印刷教材 洋裁道具		
評価方法		前期：試験・レポート・課題 後期：試験・レポート・課題		その他
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	被服構成基礎 用具の名称と使い方	本縫いミシン ロックアイロンの名称と使い方	いろんなミシンの説明をする。 用具の名称と使い方の説明をする。	8
2	ミシンの基本操作	ミシンの使い方 洋裁用具の使い方 手縫いの基礎	縫い方について、実際縫った物を見ながらその都度説明をする。	8
3	手縫いピンクッション	手縫いでピンクッション	工夫して自分らしいピンクッションを作る。	8
4	エブロン作り	エブロン型紙トレース デザイン 地直し 裁断 ポケット作り	作ることの楽しさを覚える。	8
5	エブロン作り	エブロン型紙トレース デザイン 地直し 裁断 ポケット作り	出来上がり、初めてのミシン使用を振り返る。	8
6	エブロン仕上げ タイト原型製図1/4	エブロン仕上げ タイト原型製図1/4 タイト原型の展開3型	記号の見方 製図の書き方を指導する。	8
7	タイト原型の展開	記号の見方 縮尺の使い方	記号の見方 製図の書き方を指導する。	8
8	タイトスカート製図	確認テスト（技能初級） タイト原寸製図 トワルドレーピング	タイトスカート製図 製図を正確にかけるようにする。	8
9	タイトスカート製図 ドレーピング補正	補正 再組み立て	補正の仕方を学ぶ。	8
10	製図完成 タイトスカート裁断 工程分析（裏無し）	スカートの裁断 地直し 切りしつけを学ぶ	切りしつけは注意して布を切らないように注意する。	8
11	タイトスカート工程 ファスナー付け ベント始末	仮縫いの仕方 スカートの縫い方 ファスナー付け ベント始末（部分縫） コンシール	仮縫いも大事にする。 部分縫いもしっかり覚える。	8
12	ベルト付け 仕上げ	まつり方 仕上げ アイロンのかけ方	仕上げアイロン丁寧な作業を心がける。	8
13	サーキュラースカート 製図裁断（裏付）	縫い方 裏縫い ファスナー付（フラット）	サーキュラーはバイヤスです。ミシンかけに注意する。	8
14	ベルト作り	ファスナー フラットとコンシールの違い	楽しみながら2つの違いを見る。	8
15	裾まつり 仕上げ	裾まつり 仕上げ	裾まつり バイヤスに注意する。	8
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。			

教科名： 洋裁構成・製作2（基礎）（実習）		後期	教科担任： 越尾薫（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FS	1年	単位数： 8単位	
授業のねらい		縫製会社での実務経験のある指導者のもと、製図、裁断、縫製、の基礎レベルの技術を学び知識や技術を習得する。 縫製方法を学び制作プロセスを理解する。		前 期 8H×15W=120H 後 期 8H×15W=120H 合 計 240H	
目指す検定・資格		洋裁技術検定試験（初級）		教材費	
テキスト・教材		文化ファッション大系 服飾造形講座 印刷教材			
評価方法		後期 課題 出席状況 授業態度など総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	技能五輪2級課題 長袖ブラウス	裁断 3着		枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
2	技能五輪2級課題 長袖ブラウス	裁断 3着		枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
3	着製作 工程分析	タイム設定		枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
4	着製作 工程分析	タイム設定		枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
5	製作 2着	ミシンとアイロン工程のみ		枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
6	製作 2着	手仕事のみ		枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
7	原型のダーツ操作	色々なダーツ 操作をやってみる		枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
8	シャツブラウス製図	台衿付き シャツカラーケンボロ口前立て		枚数を何枚も縫う事で時間短縮になる	8
9	裁断～製作	袖口 ケンボロ 左右 間違わないようにしっかり覚える		ケンボロ左右間違えやすいので注意	8
10	仕上げ	ボタンホールの練習		ボタンホールは数を重ね練習し上手になる	8
11	仕上げ	ボタンホールの練習		ボタンホールは数を重ね練習し上手になる	8
12	ベスト製図	袖がないのでポケットも付けてみよう		部分縫いしたポケットをもう一度やってみよう	8
13	ベスト製図	袖がないのでポケットも付けてみよう		部分縫いしたポケットをもう一度やってみよう	8
14	ベスト製図	袖がないのでポケットも付けてみよう		部分縫いしたポケットをもう一度やってみよう	8
15	技術検定初級対策	製図でいい点数が取れる様指導する		技能検定取得を目指す	8
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す。				

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：植物学1（実習）			前期	教科担任： 齋藤美英（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科			コース：FD		1年	単位数：2 単位
授業のねらい		植物の生涯の生き方、よりよい植物の成長のため環境の学習や実習と共に植物の成長過程を観察し、緑花栽培の役割やその環境など幅広く学習する。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費	
テキスト・教材		雑草手帳（東京書籍） タネのふしぎ（サイエンスアイ）これでナットク 植物の謎（日本植物整理学会編集）				
評価方法		前期：試験 出席状況 授業態度など総合して評価する。			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	植物を知る	病気の種類 原因の対策			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
2	植物を知る	病気の種類 原因の対策			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
3	植物を知る	病気の種類 原因の対策			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
4	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
5	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
6	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
7	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
8	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
9	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
10	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
11	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
12	コンテナへの根付	植物の生長の観察			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
13	さし芽 枝挿し	植物の生長の観察			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
14	1年生植物の種まき	植物の生長の観察			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
15	スプラウト栽培	植物の生長の観察			教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：植物学（実習）		後期	教科担任： 齋藤美英（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD	1年	単位数： 2 単位	
授業のねらい		植物の生涯の生き方、よりよい植物の成長のため環境の学習や実習と共に植物の成長過程を観察する。		前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材		雑草手帳（東京書籍） タネのふしぎ（サイエンスアイ）これでナットク 植物の謎（日本植物整理学会編集）			
評価方法		後期： 試験 出席状況 授業態度など総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	食用植物 観葉植物	様々な植物について学習する		教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
2	食用植物 観葉植物	様々な植物について学習する		教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
3	植物と人との地球環境の謎	地球環境における植物の果たす役割		教材で理解を深める。	2
4	植物の形状について	各植物の特徴を学習		教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
5	植物の葉について	植物の葉の役割を学習		教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
6	植物の花について	花の謎を考える		教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
7	植物たちの自給自足生活の謎	植物成長のしくみを学習		教材で理解を深める	2
8	植物たちの自給自足生活の謎	植物成長のしくみを学習		教材で理解を深める。	2
9	植物たちの生育場所	様々なところに生育する植物を学習		教材で理解を深める。	2
10	植物たちの動きの謎	植物の動きの仕組みを学習		教材で理解を深める。	2
11	植物の繁殖の謎	植物の繁殖の仕組みを学習		教材で理解を深める。	2
12	コンテナへの植付け	植物の生長の観察		植物を観察することにより知識を深める。	2
13	さし芽 枝挿し 植付け	植物の生長の観察		植物を観察することにより知識を深める。	2
14	1年生植物の種まき	植物の生長の観察		植物を観察することにより知識を深める。	2
15	短日処理したワスレナグサの観察	植物の生長の観察		教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：グリーンコーディネート1（実習）		通期	教科担任：山本幹雄（実務経験教員）			
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD	1年	単位数：4単位		
授業のねらい		ガーデン・デザインの基礎を、演習・課題等を織り交ぜながら学習する。 実習庭園での演習を行い、より深い植栽の知識を得る。		前 期 4H×15W=60H 後 期 4H×15W=60H 合 計 120H		
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費		
テキスト・教材		ガーデンデザイン入門 その他プリント・植物、教材庭園				
評価方法		前期： 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。 後期： 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他		
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点		実時数
1	オリエンテーション	授業概要、器具道具の設置場所の確認 実習庭園の説明		実習内容の確認 実習庭園の確認 実習用品の確認		4
2	栽培 撒種	植物の種類による、種の種類 まき方 実習		植物の種類による様々な種まき方法の違いを学ぶ。 種まき実習		8
3	栽培・管理	間引き、水遣り、肥料 実習		植物の違いによる管理方法の違いを学ぶ。 管理実習		8
4	栽培 植え付け	庭への植え付け 実習		直植え・ポット植え等の方法を学ぶ。 植え付け方法の違いを学ぶ。		8
5	鉢	種類、用法、管理 実習		素材による違い、製法による違いなどを学ぶ。 種類を学ぶ		4
6	用土	種類、用法、混合、 実習		植物栽培の基本となる用土を知る。		4
7	手入れ	水遣り、施肥、雑草の種類、害虫 実習		庭園管理の方法を学ぶ 肥料・害虫駆除を学ぶ		8
8	栽培・管理	庭園管理の実際 実習		実習庭園を手入れする事で、庭園管理の実際を学ぶ。		12
9	手入れ	庭園用の材料の実際 実習		実習庭園を手入れする事で、日常的な庭園管理の実際を学ぶ。		8
10	冬越し、施肥、	冬に備えた庭園・鉢の管理 堆肥の作り方 実習		冬・次年度に備えた庭の管理の方法を学ぶ。		8
11	栽培・剪定、植え替え	冬季間の手入れ、樹木の剪定 鉢の植え替え、移動 実習		次年度に備えた土作り、清掃、 樹形の整理を学ぶ。 鉢植え植物の冬越しを学ぶ。		8
12	ガーデンデザインの実際	庭の意味、発注からデザインまで フロントガーデン・メインガーデンの考え方		ガーデンデザインの為の庭園論 実際の受注から工事までの流れを学ぶ		12
13	ガーデンデザインの実際Ⅱ	ゾーニング、動線計画		配置計画の仕方、庭園内での人の動きを学ぶ。		8
14	ガーデンデザインⅠ	草花・樹木の選定 ガーデンアイテムの選定 デザイン実習		植物の種類を学び、植栽計画の基本を学ぶ。 アイテムの種類を学ぶ 実際のスケッチを起こす。		12
15	ガーデンデザインⅡ	草花・樹木の選定 ガーデンアイテムの選定 デザイン実習		さらに深く植栽について学び、デザインに生かせるようになる。		8
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：ガーデニング製図1(実習)		通期	教科担任：山本幹雄（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD		1年	単位数：4単位
授業のねらい		建築系で住宅設計の実務経験を持つ指導者の下、ガーデニングに必要な製図の知識・技術を指導し、実際に製図を知識を学習する。また、課題制作により製図技術を習得する。		前 期 後 期 合 計	4H×15W=90H 2H×15W=30H 120H
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材		やさしい造園図面の描き方 その他プリント等 製図用品			
評価方法		前期：試験 ・レポート・課題 授業態度 出席 状況を総合する。 後期：試験 ・レポート・課題 授業態度 出席 状況を総合する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	製図とは何か 製図用具の使い方 設計とは		製図用具の扱い方 JIS規格について 製図することの意味	6
2	線の練習	基本的な線の練習 定規を使った線・フリーハンドの線 作図法 実習		正しい線・製図用具を使った線 実線・一点鎖線・破線 作図方法・図学について 線の練習	12
3	基本作図	文字・数字 作図課題に基づいた基本図形の作図実習 課題		図面上の文字について JIS規格の文字 数字・文字の練習	8
4	設計図書	ガーデンデザインに必要な設計図書とは JIS規格に基づく製図とは		設計図書までの流れ ガーデニングに必要な図面 設計図の伝えるもの	8
5	平面図・配置図	平面図・配置図の意味 平面図・配置図の模写 課題図面		平面図・配置図に描くもの 実際の平面図を模写してみる	8
6	寸法・縮尺・	図面のスケールとは 縮尺の計算		寸歩記入の方法 縮尺の計算三角スケールを使う	8
7	植栽図	植栽・草花・ファニチャー等の練習 平面・立面での描写 作図実習		植栽の描き方の実習 点景の描き方の実習 立面の表現を実習	12
8	立面図	立面図とは 立面図の描き方 模写		立面図に描くもの 実際の立面図を描いてみる	8
9	後期 ガーデン実習	ガーデン見学 実際の庭をスケッチに起こす		近郊のガーデンを見学してみる 写真撮影 スケッチをしてみる	8
10	断面図	断面図とは 断面図の描き方 模写		断面図に描くもの 実際の断面図を模写してみる	8
11	パース	パースの作図方法 作図実習		鳥瞰図の描き方を学ぶ 作図を行う	8
12	作家研究	ガーデンデザイナーの作品を研究し その手法を学ぶ レポート		有名作家の手法を学ぶ 分析の方法を学ぶ レポートの書き方を学ぶ	8
13	模写	今までの学習に基づいて庭園図面の模写		より高度なガーデニング図面の模写	8
14	模写	今までの学習に基づいて庭園図面の模写		より高度なガーデニング図面の模写	8
15	予備	演習等		補修項目	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：園芸流通(講義)			後期	教科担任： 山本絵里子			
学科名：ファッション・プロモート科			コース：FD		1年	単位数： 1単位	
授業のねらい		花卉産業における生産についての知識と顧客ニーズについて学ぶ。また、良いフラワーショップ運営の仕方と取り姿勢や職場とは何かを知る。			後 期 2H×15W=30H 合 計 30H		
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費		
テキスト・教材							
評価方法		課題 出席状況 授業態度など総合して評価する。			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	花卉産業とは	花卉の特徴			植物植物の観察 流通について調べる		2
2	花卉産業の留つについて	花卉の特徴・流通			植物の観察 流通について調べる		2
3	花卉産業の生産地	花卉の特徴・流通			植物の観察 流通について調べる		2
4	花卉産業の生産量	花卉の特徴・流通			植物の観察 流通について調べる		2
5	花卉産業の生産動向	花卉の特徴・流通			植物の観察 流通について調べる		2
6	フラワーショップ店員の心構え	花業界に興味を持ち植物の知識や技術を学ぶ			植物や店舗流通について 詳しく調べる		2
7	フラワーショップ店員の心構え	花業界に興味を持ち植物の知識や技術を学ぶ			植物や店舗流通について 詳しく調べる		2
8	品質・品揃え 商品開発	花業界に興味を持ち植物の知識や技術を学ぶ			植物商品管理店舗流通について詳しく 学ぶ		2
9	品質・品揃え 商品開発	花業界に興味を持ち植物の知識や技術を学ぶ			植物商品管理店舗流通について詳しく 学ぶ		2
10	品質・品揃え 商品開発	花業界に興味を持ち植物の知識や技術を学ぶ			植物商品管理店舗流通について詳しく 学ぶ		2
11	店舗計画	花卉生産・流通 店運営について学ぶ			植物商品管理店舗流通について詳しく 学ぶ		2
12	店舗計画	花卉生産・流通について学ぶ			植物商品管理店舗流通について詳しく 学ぶ		2
13	今後の新規事業の展開について	花卉生産・流通について学ぶ お客様のニーズに 合わせ実演を取り入れながら運営の仕方を学ぶ			植物商品管理店舗流通について詳しく 学ぶ		2
14	ショップ運営演習について	花卉生産・流通について学ぶ お客様のニーズに 合わせ実演を取り入れながら運営の仕方を学ぶ			植物商品管理店舗流通について詳しく 学ぶ		2
15	ショップ運営演習について	花卉生産・流通について学ぶ お客様のニーズに 合わせ実演を取り入れながら運営の仕方を学ぶ			植物商品管理店舗流通について詳しく 学ぶ		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す						

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：服装史（講義）			前期	教科担任：池田 恭仁子（実務経験教員）			
学科名：ファッション・プロモート科			コース：FD		1年	単位数：2単位	
授業のねらい			和裁研究所に勤務経験のある指導者のもと、世界の多様な服装が現代のスタイルに至るまで、どのように変化、発展してきたかを、各時代の社会状況と照らし合わせながら学習する。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格						教材費	
テキスト・教材			被服概論(財団法人 職業訓練教材研究会)				
評価方法			前期：試験 出席状況 授業態度など総合して評価する。			その他	
時数	単元		授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	有史以前の服装		原始的な衣服とはどのようなものか、素材となるものや、人間と衣服の関りを中心に学ぶ。			各時代の社会情勢を把握し、それがファッションにどのような影響を与えたかを考えながら学べるようにする。 また、画像資料を多く用いることで、当時のファッションをリアルに感じられよう留意する。	2
2	古代文明の服装		メソポタミア文明の服装を中心に学ぶ。				2
3	古代文明の服装		エジプト文明の服装を中心に学ぶ。				2
4	古代文明の服装		ギリシャ、ローマ時代の服装を学ぶ。				2
5	中世の服装		ビザンティン帝国やゲルマン人に焦点を当て、新しい文化の服装を学ぶ。				2
6	中世の服装		キリスト教的な考え方と東方の文化が融合して生まれたロマネスク様式の服装を学ぶ。				2
7	中世の服装		宮廷を中心に豪華に洗練されていくゴシック文化の服飾を学ぶ。				2
8	近世の服装		技巧的なデザインや、人工的に誇張されたデザインが多い16世紀の服装を中心に学ぶ。				2
9	近世の服装		オランダの市民的なナチュラルなモードや、貴族的な豪華なファッションなどの17世紀の服装を中心に学ぶ。				2
10	近世の服装		豪華絢爛な服飾の最盛期ともいえる18世紀の服装を中心に学ぶ。				2
11	近代の服装		フランス革命を契機に服飾から身分差が取り払われる過程を学ぶ。				2
12	近代の服装		19世紀の豊かなファッションを学ぶ。				2
13	近代の服装		二つの大戦を境に服装が変化してく様子を学ぶ。現代に繋がる衣服の変遷を学ぶ。				2
14	近現代の服装		二つの大戦を境に服装が変化してく様子を学ぶ。現代に繋がる衣服の変遷を学ぶ。				2
15	近現代の服装		二つの大戦を境に服装が変化してく様子を学ぶ。現代に繋がる衣服の変遷を学ぶ。				2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す						

教科名：服装史（講義）			後期		教科担任：池田 恭仁子（実務経験教員）			
学科名：ファッション・プロモート科			コース：FD		1年	単位数：2 単位		
授業のねらい		日本の服装が現代の着物の形に到達するまでの過程を、各時代の社会情勢や、諸外国からの影響などと照らし合わせながら学ぶ。				前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H		
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定				教材費		
テキスト・教材		被服概論(財団法人 職業訓練教材研究会)						
評価方法		試験 出席状況 授業態度など総合して評価する。				その他		
時数	単元		授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	有史以前の服装		日本人のもっとも原始的な服飾を学ぶ。			各時代の社会情勢や諸外国との繋がり、当時の生活様式が、日本人の服飾にどのような影響を与えたかを考えながら学べるようにする。 また、図像資料を多く用いることで、当時の日本人の服飾をリアルに感じられよう留意する。		2
2	古墳時代の服装		大陸との交流や技術の進歩、生活様式変化によって衣服の形態が変化した様を中心に学ぶ。					2
3	飛鳥時代の服装		身分、位によって服装が定められた過程やそれがどのようなものであったかをを中心に学ぶ。					2
4	奈良時代の服装		法令によって衣服が定められた点や、当時の人々が取り入れた中国風の服飾を中心に学ぶ。					2
5	平安時代の服装Ⅰ		遣唐使が廃止されたことで日本風の形に変化していく服装を学ぶ。					2
6	平安時代の服装Ⅱ		遣唐使が廃止されたことで日本風の形に変化していく服装を学ぶ。					2
7	鎌倉時代の服装		武家に好まれる簡素な服飾、貴族的な好みとの違いを学ぶ。					2
8	室町時代の服装		室町時代に確立する武家礼装を中心に学ぶ。					2
9	安土・桃山時代の服装		新しい染色の技術や、新しく生まれたモチーフの多様性、西洋から取り入れた新しいファッションを学ぶ。					2
10	江戸時代の服装Ⅰ		身分制度を視覚的に表す服装を中心に学ぶ。					2
11	江戸時代の服装Ⅱ		現代の着物の原型と考えられる小袖の紋様、染色技術、流行の変遷を中心に学ぶ。					2
12	明治時代の服装		服装の西洋化を中心に学ぶ。					2
13	大正時代の服装		大正時代に入ってさらに進む洋装化と2つ大戦が日本の服装に与えた影響を中心に学ぶ。					2
14	戦後の服装		戦後から現代に繋がる衣服の変遷を目まぐるしい流行を中心に学ぶ。					2
15	髪型・かぶりものの歴史		日本の服飾における髪型の変遷を学ぶ。					2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す							

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名：PC活用2（演習）		通期	教科担任：江口 優一朗	
学 科 名 ファッション・プロモート科		コース：	2年	単位数：2単位
授業のねらい		コンピュータを扱う上では欠かせないインターネット社会についての知識を身につけ、検定の受験により知識の定着を図る。 Word2019およびExcel2019の基礎から応用までの技法を学び到達段階ごとに検定の受験により技術の定着を図る。		前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 Word, Excel 1 級、2 級、3 級	教材費	
テキスト・教材		Word2019クイックマスター基本編、応用編 Excel2019クイックマスター基本編、応用編		
評価方法		前期 実技試験、課題 後期 実技試験、課題	その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	文書作成ソフトの概要 Wordの概要	文書作成ソフトとは 文書作成ソフトでできること Wordの概要	文書作成ソフトの概要を理解する	2
2	Wordの基本操作	Wordの起動方法、画面構成、既存の文書の開き方、画面操作、 表示モードの切り替え、終了方法	Wordの基本操作をマスターする	2
3	Wordでの効率的な文字入力	新規文書の作成、入力システムの概要・切り替え、文書の保存	効率的な文字入力をマスターする	2
4	文書の編集	ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ・行間の設定、禁則処理、罫線・網掛けの設定	文書のレイアウトを整える方法をマスターする	2
5	文書の印刷	改ページの挿入、ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法、印刷の実行	ワンクリックで効率よく印刷する方法をマスターする	2
6	文書の作成	機能を活用したあいさつ文の挿入方法、段落番号・箇条書きの設定、タブとインデント、ビジネス文書のレイアウト	ビジネス文書の効率的な作成法をマスターする	2
7	↓	↓	↓	2
8	表を用いた文書作成	表の作成、表の編集、表の装飾	見やすい表の作成法をマスターする	2
9	↓	↓	↓	2
10	図形や画像を用いた文書の作成	ワードアート・画像の挿入と編集、図形の作成・編集、テキストボックスの作成、アイコンの活用	様々な視覚効果を使いチラシを作成出来るようにする	2
11	↓	↓	↓	2

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

12	実践的なビジネス文書の作成	実務を想定した文書の作成、メールで文書を送る際のマナー	これまでの学習の総まとめとして知識の定着を図る	2
13	↓	↓	↓	2
14	チラシの作成	グラフィック機能を活用したチラシの作成	オリジナリティのあるチラシを作成する。	2
15	↓	↓	↓	2
16	表計算ソフトの概要 Excelの概要	表計算ソフトとは 表計算ソフトでできること Excelとは	表計算ソフトの概要を理解	2
17	表の編集、ブックの印刷	罫線、操作アシスト、セルの書式と配置、幅と高さの調整、ページ設定と表示モード	基本的な機能の使用法をマスター	2
18	グラフと図形	グラフ作成編集、図形作成	データを用いたグラフを作成し、分析する方法を知る	2
19	関数	統計、数学、論理、日付の関数	関数を用いたフォーマットの作成ができる	2
20	データベース機能	リスト作成、ソート、抽出	目的のデータを効率よく操作する方法を知る	2
21	書類作成	実務を想定した書類の作成	Excelを使用した簡単な書類の作成法を知る	2
22	↓	実務を想定した書類の作成	↓	2
23	入力補助、関数	表示形式、条件付き書式、文字列操作関数、検索行列関数、情報関数	より高度な機能を使い、便利なフォーマットを作る	2
24	グラフ機能	グラフの拡張とデータ予測	高度な分析ができるよう、応用的なグラフ作成を知る	2
25	複数ワークシート	ワークシートの連携と集計	Excelを使用した効率的な業務遂行において必要な機能	2
26	データベース	オートフィル、複雑な条件による抽出、小計機能	より複雑なデータ操作について知る	2
27	データ分析	ワークシート分析、ピボットテーブル、値の予測	クロス集計、予測などより高度な分析方法を知る	2
28	処理の自動化	マクロの登録と実行		2
29	見積書、勤怠管理表の作成	関数、マクロの機能を使用し、実務で書類をより高度かつ効率的に作成するための方法	ビジネスシーンに必要な書類を効率的に作る方法	2
30	↓	↓	↓	2
その他	その単元ごとに実習課題を課す			

2024年度 授業計画 専門学校山形V.カレッジ

教科名：		ビジネスマナー（演習）		前期	教科担任：堀川 栄美子	
学科名：		ファッション・プロモート科1，2年		コース：	単位数 2 単位	
授業のねらい （授業概要・目標到達）		企業が求める社会人基礎力を確実に習得し、職業人としての資質向上を目指す。また、来客・電話応対を中心に企業人としての活動・慶弔等も学ぶ。授業では実習を多用するが、その経験から他者との良好な関係づくりも学んでいく。			前期 2H×15W = 30 H 後期 2H×15W = 30 H 合計 60 H	
目指す検定・資格		ビジネス能力検定ジョブパス 3級			教材費 2,052円	
テキスト・教材		2024版 要点と演習ビジネス能力検定（B検）ジョブパス3級				
評価方法		検定試験・定期試験・授業態度・出席状況を総合して評価する。			その他	
時数	単元（細目）	指導内容			指導上の留意点	実時数
1	自己紹介	あいさつの目的を理解する。 自己紹介が成功するために気をつける事 聞き手からの働きかけ			自己紹介者と聞き手とのプラスの交流を作る	2
2	エチケットとマナー	エチケット、マナー、モラルの違いを考える。			日常の経験から身近なものとして、捉える	2
3	ビジネスマナーの基本	身だしなみからあいさつまで基本な内容を学ぶ			職場を意識して考える	2
4	あいさつ	あいさつの効果 あいさつの場面と種類 あいさつ＋ワン			対人関係をつくる第一歩であることを意識づける	2
5	敬語表現	敬語の種類 間違いやすい敬語			正しい敬語表現を理解する	2
6	敬語表現	敬語を使った会話			文法として習得した敬語を、自分の言葉として使えるようになる	2
7	話しをしてみよう	話を効果的に伝えるための表現方法 視覚情報、アイコンタクト、ゼスチャー			視覚情報の重要性を知る	2
8	話しをしてみよう	前週の学習を意識したスピーチを行う			前週の学習を生かしたスピーチ	2
9	聞き上手を目指そう	聴くと聞くの違い 聴くことの重要性 会話を進める効果的な質問			意識して聴くことと、漫然と聞くことの違いを知る。質問次第で会話に変化することを体験する	2
10	話す・聴く	話し手と聴き手が、役割を意識して会話を促進する			これまでの学習成果を現れる会話をを行う。	2
11	話す・聴く まとめ	演習ノートのまとめ				2
12	指示の受け方・報告・連絡・相談	「話す」「聴く」が、ビジネス現場ではどのように活用される			ビジネス場面での「話す」「聴く」の重要性を知る	2
13	指示の受け方・報告・連絡・相談	「話す」「聴く」が、ビジネス現場ではどのように活用される			ロールプレーで体験する	2
14	指示の受け方・報告・連絡・相談	演習ノートまとめ				2
15	会社活動の基本	組織人にとって不可欠な8つの意識 効率的業務と状況変化への対応			顧客意識を中心にした8つの意識を知る。	2
その他	授業の他に、自宅での学習を要する					

2024年度 授業計画 専門学校山形V.カレッジ

教科名：		ビジネスマナー（演習）		後期	教科担任：堀川 栄美子	
学科名：		ファッション・プロモート科 1, 2 年		コース：	単位数 2 単位	
授業のねらい （授業概要・目標到達）		企業が求める社会人基礎力を確実に習得し、職業人としての資質向上を目指す。また、来客・電話応対を中心に企業人としての活動・慶弔等も学ぶ。授業では実習を多用するが、その経験から他者との良好な関係づくりも学んでいく。			前期 2H×15W = 30 H 後期 2H×15W = 30 H 合計 60 H	
目指す検定・資格		ビジネス能力検定ジョブパス 3 級			教材費	2, 052 円
テキスト・教材		2024 版 要点と演習ビジネス能力検定（B 検）ジョブパス 3 級				
評価方法		検定試験・定期試験・授業態度・出席状況を総合して評価する。			その他	
時数	単元（細目）	指導内容			指導上の留意点	実時数
1	電話応対基礎	電話の特徴 受けてかけ手の基本			ビジネスマナーとして必要な基本を学ぶ	2
2	来客応対基礎	来客対応の接客マナーと言葉遣い			誠意ある来客対応のための必要な心掛け	2
3	ビジネス文書	ビジネス文章の基本 文章の種類と形成 社内文章			ビジネスマナーとして必要な基本を学ぶ	2
4	ビジネス文書	社外文書 社交文書 社外文書で使われる慣用句 封筒のあて名書きと扱い			社内文書との違い 封筒の宛名書きを実践	2
5	ビジネス文書	電子メール			メールの利便性と共にマナーも心得る	2
6	ジョブパス検定	FAX等の活用			FAXもビジネスでは多用される。簡潔な文章作成を意識する	2
7	ジョブパス検定	過去問			これまでの学習内容をもとにして問題を解く。誤り個所の再確認	2
8	ジョブパス検定	過去問			これまでの学習内容をもとにして問題を解く。誤り個所の再確認	2
9	ジョブパス検定	過去問			これまでの学習内容をもとにして問題を解く。誤り個所の再確認	2
10	ジョブパス検定	過去問			これまでの学習内容をもとにして問題を解く。誤り個所の再確認	2
11	ジョブパス検定	過去問			これまでの学習内容をもとにして問題を解く。誤り個所の再確認	2
12	電話応対実践	実習用電話機を使用しロールプレーイングを行う			テキストで学んだことを実際に行うことの難しさと状況に応じた対応の重要性を学ぶ	2
13	来客応対実践	玄関 応接室を使用して来客の出迎えから茶菓接待 見送りまでロールプレーイングする			テキストで学んだことを実際に行うことの難しさと状況に応じた対応の重要性を学ぶ	2
14	慶弔のマナー	冠婚葬祭の意味やしきたり			祝儀袋 不祝儀袋の上書きは複数の状況で書いてみる。	2
15	慶弔のマナー	季節の行事 他			自分の生活と関連付けて学ぶ。組織の中で受け継がれる行事も理解する。	2
その他	授業の他に、自宅での学習を要する					

2024年度 授業計画 専門学校山形V.カレッジ

教科名：ファッションデザイン2（講義）			前期		教科担任：沼澤 玲菜（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート		コース：FS KM			1、2年	単位数：	2単位
授業のねらい		イラストレーターの実務経験を活かし、クリエイティブな感性と想像力の強化を図り魅力的なデザイン画が描けるように指導する。			前 期	2H×15W=30H	
					後 期	2H×15W=30H	
					合 計	60H	
目指す検定・資格		目標			教材費		
		取得可能な検定					
テキスト・教材		ファッションデザインテクニック					
評価方法		前期：課題、授業態度、出席状況を総合して評価する			その他		
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点			実時数
1	ドローイング基礎1	テーマ好きな物+春		自由に描く			2
2	自己紹介	自己紹介カード作成 発表		自己開示 自己表現 コミュニケーション能力を養う			2
3	似顔絵	ペアになってお互いの似顔絵を描く		相手をよく観察して描く			2
4	スケッチ1	花のスケッチ		よく観察して描く			2
5	クロッキー1	3分クロッキー		複のコーディネートや素材を観察			2
6	スケッチ2	3分クロッキー		複のコーディネートや素材を観察			2
7	クロッキー2	3分クロッキー		複のコーディネートや素材を観察			2
8	スケッチ3	3分クロッキー		複のコーディネートや素材を観察			2
9	クロッキー3	3分クロッキー		複のコーディネートや素材を観察			2
10	ドローイング1	8頭身のプロポーション		コンテスト提出に向けて			2
11	ドローイング2	着 装		人体と布の関係 光と影の方向性と素材感の出し方の研究			2
12	ドローイング3	ポーズと着 装		ドレープ シワの出し方 その表現方法を試す			2
13	ドローイング4	彩色		絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験			2
14	ドローイング5	彩色		絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験			2
15	ドローイング6	彩色		絵の具の使い方、デザイン画作成のプロセスの体験			2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す						

2024年度 授業計画 専門学校山形V.カレッジ

教科名：ファッションデザイン2（講義）			後期		教科担任：沼澤 玲菜（実務経験教員）			
学科名：ファッション・プロモート			コース：FS KM		1年	単位数：	2 単位	
授業のねらい		服飾デザイナーの実務経験を活かし、ファッションデザインに必要な基礎を、デザイン画として表現することを通じて学び指導する。さらにクリエイティブな感性と企画力の強化をはかり、実践的なビジネス力を身につけることを目指す。			前 期	2H×15W=30H		
					後 期	2H×15W=30H		
					合 計	60H		
目指す検定・資格		目標 コンテスト			教材費			
		取得可能な検定 ファッションビジネス能力検定試験 3 級						
テキスト・教材		ファッションデザインテクニック						
		ファッションビジネス1（3 級準拠）						
		ファッションビジネス能力検定試験 3 級項目別試験問題・解答集						
評価方法		後期： 課題、授業態度、出席状況を総合して評価する			その他			
時数	単元		授業内容（細目）		学習上の留意点			実時数
1	アイラム平図 1		作成可能なデザイン画の基礎としてカットソー、ブラウス		製図制作方法の情報がわかるデザイン画作成の方法を基礎から学ぶ。			2
2	アイラム平図 2		シャツ スカート 平面図 アイテム研究		アイテムの種類や歴史を調べ描き方のバリエーションを広げる。			2
3	アイラム平図 3		ワンピース 平面図 アイテム研究		上下のバランスのとり方を寸法の割り出し方を学ぶ。			2
4	アイラム平図 4		ジャケット スーツ 平面図 アイテム研究		伝統的な服作りの情報の代表であるジャケットを学ぶ。			2
5	アイラム平図 5		ジャンパー 平面図 アイテム研究		機能性による衣服の変化 デザインを考慮する。			2
6	アイラム平図 6		パンツ コート 平面図 アイテム研究		コートの種類や歴史も一緒に学ぶ。			2
7	アイラム平図 7		着色 素材の描き分け		柄 テック 千鳥 ツイード 皮などの素材を描いてみる。			2
8	ドローイング5		ポーズと着装の基礎		ポーズをとった時の服の変化			2
9	ドローイング6		ポーズバリエーション		様々なポーズを描いてみる。			2
10	ドローイング7		ポーズバリエーション		様々なポーズを描いてみる。			2
11	ブランド創造 1		イメージ SD法 配色		イメージを表現する2つの配色をする。			2
12	ブランド創造2		配色と形、素材のイメージ		SD法の表上で分析する。さらに形と素材のイメージを分析する。			2
13	ブランド創造3		ブランドを調べる		ブランドのコンセプト、デザイン企画、販売を調べる。			2
14	企画書作成 1		ブランドを創る		企画書の作成 ワークシート企画書を作ってみる。			2
15	企画書作成 2		ブランドを創る		ブラッシュアップ 発表			2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す							

教科名：アロマセラピー2（講義）			前期		教科担任：山本絵里子(実務経験教員)			
学科名：ファッション・プロモート科			コース：BC FD		2 年		単位数：2単位	
授業のねらい			実務経験のある指導者のもと、アロマセラピーとは何かを理解し健康に日常生活の質を上げるために香りをどのように活用していったらよいかの基礎を学ぶ。2 年次 5 月の検定取得のための基礎知識を学ぶ。また、マッサージ（トリートメント）の基礎的技術手法を身につける。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H		
目指す検定・資格			目標 日本アロマ環境協会 1 級、2 級アロマセラピー検定（2 年次 5 月受験） 取得可能な検定 日本アロマ環境協会アドバイザー（2 年次 6 月講習取得） 環境カオリスタ検定			教材費		
テキスト・教材			日本アロマ環境協会 1 級・2 級アロマセラピー検定テキスト \2,592 アロマ検定問題集合格テキスト&模擬問題 アロマセラピー検定公式問題集 印刷教材					
評価方法			前期： 試験 ・課題 授業態度、出席状況を総合して評価する。			その他		
時数	単元		授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	ドローイング基礎 1		デザイン概論 道具の使い方、基礎ドローイング			教科の目的の認識 導入編としてデザインとアートについての考案。		2
2	ドローイング基礎 2		色、素材 アイテム知			簡単にかける方法を試して自信をつける。人台を基に服を載せていく。		2
3	イメージ基礎 1		イメージボード作成 素材収集			自分の興味の認識 雑誌やチラシを切り抜いて収集する。		2
4	イメージ基礎 2		素材収集、選別			テーマの抽出 イラストボードに配置して完成図を検討する。		2
5	イメージ基礎 3		ボード構成			構成の技術 テーマを言葉に変換する。4 0 0 字以内の説明と 20 字以内のコピー。		2
6	イメージ基礎 4		プレゼン SD 法の解説 実習			発表の経験 イメージを分析できるように知識としてまとめる		2
7	デザイン発想 ファッション造形 1		立体裁断の基礎			絵と布の関係 デザイン発想 ダーツの処理の仕方。		2
8	ファッション造形 2		ピンワーク			絵と布の関係 スケッチを基に布を人台に合わせピンで止めて形を作っていく		2
9	ファッション造形 3		制作			型取りの方法から制作までの過程。布を平に付け型紙を制作する。		2
10	ファッション造形 4		制作			作品として完成させる。もう一度布を組み立て作品にする。		2
11	ファッション造形 5		スケッチ 構成			PC の使い方 完成した作品をスケッチする。作品を撮る。		2
12	ドローイング 1		8 頭身のプロポーション			人体、寸法の理解 頭身の知識と 8 頭身のプロポーションを実技で作成してみる。		2
13	ドローイング 2		着 装			人体と布の関係 光と影の方向性と素材感出し方を研究する。		2
14	ドローイング 3		ポーズと着 装			ドレープ、シワの出方 その表現方法を試す。		2
15	ドローイング 4		彩色			絵の具の使い方 デザイン画作成のプロセスを体験。階段を踏んで完成させる。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す							

教科名：アロマセラピー（講義）			後期		教科担任：山本絵里子(実務経験教員)			
学科名：ファッション・プロモート科		コース：BC FD			2年		単位数：2単位	
授業のねらい		実務経験のある指導者のもと、アロマセラピーとは何かを理解し健康に日常生活の質を上げるために香りをどのように活用していったらよいかの基礎を学ぶ。2年次5月の検定取得のための基礎知識を学ぶ。また、マッサージ（トリートメント）の基礎的技術手法を身につける。				前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H		
目指す検定・資格		目標 日本アロマ環境協会1級、2級アロマセラピー検定（2年次5月受験） 取得可能な検定 日本アロマ環境協会アドバイザー（2年次6月講習取得） 環境カオリスタ検定				教材費		
テキスト・教材		日本アロマ環境協会1級・2級アロマセラピー検定テキスト \2,592 アロマ検定問題集合格テキスト&模擬問題 2376円 アロマセラピー検定公式問題集 1,404 円 印刷教材						
評価方法		後期： 試験 ・課題 授業態度、出席状況を総合して評価する。				その他		
時数	単元	授業内容（細目）				学習上の留意点		実時数
1	アロマセラピーの基本	アロマセラピーを安全に使うための注意と利用法 実習 芳香浴				健康に活かし、安全に楽しむためにプロとして指導するために何度も注意を確認しておく。		2
2	アロマセラピーを生活に取り入れる。	空間づくりのためにアロマの効果を活用しながら空間を清潔に保つ。				ただの空間演出だけでなく、心理的、科学的根拠を理解して体にも環境にもやさしいアロマを使う。		2
3	エッセンシャルオイルの特性	エッセンシャルオイルの化学性と性質の違いを理解する。				エッセンシャルオイルのそれぞれの香りから受ける印象を大切にし、特色を覚える。		2
4	基材の化学性	有機化合物とは何か、基材の種類と特性を理解し、使う目的や肌質に合わせる。				エッセンシャルオイルの成分が塩基により特性、名称が変わることを理解する。		2
5	実習	バスソルトを作る。 重曹、クエン酸の役割と効用				症状を改善するためにエッセンシャルオイルと基材の組み合わせを応用する。		2
6	実習	香りで涼しさを演出する手法を学ぶ ハーブアレンジメント+保水ジェル+ミント				体感温度にも影響を及ぼすことができる。より涼しさを演出する。		2
7	健康学	身体を整えるしくみや身体作り(栄養、運動、病気)を知る。				人間の持つ恒常性を十分に引き出し、健康を守るために栄養、運動、休養が必要である。		2
8	健康学 内臓	身体の器官(内臓)について知る				内臓、器官がどのような働きで、どこにあるか、自分の体に責任を持つ		2
9	健康学 病気	メタボリックシンドローム、ロコモシンドローム高血圧、梗塞などどのような成人にどんな病気が起こるかを知る				中高年以降起こりやすい病気の原因と予防について知る。		2
10	健康学 女性特有の病気	女性に起こりやすい、女性器官と特有の病気について理解する。				更年期以降女性のホルモンバランスがくずれ起こる病気について知る。		2
11	健康学 神経	交感神経と副交感神経、脳と神経についてしくみを学ぶ				言葉は聞いたことがあるが理解できていない部分を理解する。		2
12	健康学 ストレス	ストレスとは何か、ストレスの軽減、コントロールの方法について理解する(自律神経の働き含む)				ストレスの軽減についてアロマセラピーが心理的に有効であることを知る。		2
13	健康学 睡眠	健康を守るためには休養と睡眠が必要であり、睡眠についてのしくみを理解する。睡眠のサイクル、NON-REM睡眠の特色を知る。				神経との関係、人間にとって健康維持に大切な睡眠であることを理解する。		2
14	健康学 運動効果	運動効果について理解する。 運動の種類と効果を知り、病気の予防と改善に活かす。				病気を予防するうえでも、生活の質を上げるうえでも必要な知識を得る。		2
15	健康学 栄養	栄養バランスを理解する。 6大栄養素とは、カロリーとの関係など基礎的知識を得る。				人間が生きていくために食事の栄養不可欠であり、働きについて認識を持たせる。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す							

教科名：植物学（講義）			前期		教科担任：齋藤 美英		
学科名：ファッション・プロモート科			コース：FD		2年	単位数：2単位	
授業のねらい		植物の生涯の生き方、よりよい植物の成長のため環境の学習や実習と共に植物の成長過程を観察する。			前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H		
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費		
テキスト・教材		雑草手帳 タネのふしぎ これでナットク 植物の謎					
評価方法		前期：試験、授業態度、出席状況、道具の準備等を総合して評価する			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	植物の病気	病気の種類 原因の対策			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
2	植物の病気	病気の種類 原因の対策			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
3	植物の病気	病気の種類 原因の対策			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
4	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
5	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
6	土壌	植物の生育を促すよりよい土壌の概念			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
7	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
8	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
9	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
10	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
11	種子について	種子の役割・栄養 発芽のしくみ 種子の出来方			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
12	コンテナへの根付	植物の生長の観察			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
13	さし芽 枝挿し	植物の生長の観察			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
14	1年生植物の種まき	植物の生長の観察			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
15	スプラウト栽培	植物の生長の観察			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す						

教科名： 物 学（講義）			後 期		教科担任：齋藤 佳美			
学科名：ファッション・プロモート科			コース：		2 年		単位数： 2単位	
授業のねらい			植物の生涯の生き方、よりよい植物の成長のため環境の学習や実習と共に植物の成長過程を観察する。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H		
目指す検定・資格			目標 取得可能な検定			教材費		
テキスト・教材			雑草手帳 タネのふしぎ これでナットク 植物の謎					
評価方法			後期： 試験、授業態度、出席状況、道具の準備等を総合して評価する			その他		
時数	単 元		授 業 内 容（細 目）			学 習 上 の 留 意 点		実時数
1	植物の病気		病気の種類 原因の対策			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
2	植物の病気		病気の種類 原因の対策			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
3	植物の病気		病気の種類 原因の対策			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
4	土 壌		植物の生育を促すよりよい土壌の概念			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
5	土 壌		植物の生育を促すよりよい土壌の概念			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
6	土 壌		植物の生育を促すよりよい土壌の概念			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
7	種子について		種子の役割・栄養 発芽のしくみ 子の出来方			種	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
8	種子について		種子の役割・栄養 発芽のしくみ 子の出来方			種	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
9	種子について		種子の役割・栄養 発芽のしくみ 子の出来方			種	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
10	種子について		種子の役割・栄養 発芽のしくみ 子の出来方			種	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
11	種子について		種子の役割・栄養 発芽のしくみ 子の出来方			種	教材で理解を深め実際に植物を観察する。	2
12	コンテナへの根付		植物の生長の観察			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
13	さし芽 枝挿し		植物の生長の観察			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
14	1 年生植物の種まき		植物の生長の観察			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
15	スプラウト栽培		植物の生長の観察			教材で理解を深め実際に植物を観察する。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す							

教科名：グリーンコーディネート2(実習)			通期	教科担任：山本幹雄	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD		2 年	単位数：4 単位
授業のねらい		ガーデン・デザインの基礎を、演習・課題等を織り交ぜながら学習する。 実習庭園での演習を行い、より深い植栽の知識を得る。		前 期 4H×15W=60H 後 期 4H×15W=60H 合 計 120H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材		ガーデンデザイン入門 その他プリント・植物、教材庭園			
評価方法		前期： 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。 後期： 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）			
1	オリエンテーション	授業概要、器具道具の設置場所の確認 実習庭園の説明		実習内容の確認 実習庭園の確認 実習用品の確認	4
2	栽培 撒種	植物の種類による、種の種類 まき方 実習		植物の種類による様々な種まき方法の違いを学ぶ。 種まき実習	8
3	栽培・管理	間引き、水遣り、肥料 実習		植物の違いによる管理方法の違いを学ぶ。 管理実習	8
4	栽培 植え付け	庭への植え付け 実習		直植え・ポット植え等の方法を学ぶ。 植え付け方法の違いを学ぶ。	8
5	鉢	種類、用法、管理 実習		素材による違い、製法による違いなどを学ぶ。 種類を学ぶ	4
6	用土	種類、用法、混合、 実習		植物栽培の基本となる用土を知る。	4
7	手入れ	水遣り、施肥、雑草の種類、害虫 実習		庭園管理の方法を学ぶ 肥料・害虫駆除を学ぶ	8
8	栽培・管理	庭園管理の実際 実習		実習庭園を手入れする事で、庭園管理の実際を学ぶ。	12
9	手入れ	庭園用の材料の実際 実習		実習庭園を手入れする事で、日常的な庭園管理の実際を学ぶ。	8
10	冬越し、施肥、	冬に備えた庭園・鉢の管理 堆肥の作り方 実習		冬・次年度に備えた庭の管理の方法を学ぶ。	8
11	栽培・剪定、植え替え	冬季間の手入れ、樹木の剪定 鉢の植え替え、移動 実習		次年度に備えた土作り、清掃、 樹形の整理を学ぶ。 鉢植え植物の冬越しを学ぶ。	8
12	ガーデンデザインの実際	庭の意味、発注からデザインまで フロントガーデン・メインガーデンの考え方		ガーデンデザインの為の庭園論 実際の受注から工事までの流れを学ぶ	12
13	ガーデンデザインの実際Ⅱ	ゾーニング、動線計画		配置計画の仕方、庭園内での人の動きを学ぶ。	8
14	ガーデンデザインⅠ	草花・樹木の選定 ガーデンアイテムの選定 デザイン実習		植物の種類を学び、植栽計画の基本を学ぶ。 アイテムの種類を学ぶ 実際のスケッチを起こす。	12
15	ガーデンデザインⅡ	草花・樹木の選定 ガーデンアイテムの選定 デザイン実習		さらに深く植栽について学び、デザインに生かせるようになる。	8
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

教科名：ガーデニング製図2（実習）			通期		教科担任：山本幹雄（実務経験教員）			
学科名：ファッション・プロモート科			コース：FD			単位数：4単位		
授業のねらい			自然派個性住宅設計での実務経験を活かし、ガーデニングに必要な製図の知識・技術を指導し、製図法に則った図面の作成、課題制作によりガーデニング技法を習得する。			前 期 4H×15W=60H 後 期 2H×15W=120H 合 計 120H		
目指す検定・資格			目標 取得可能な検定			教材費		
テキスト・教材			やさしい造園図面の描き方 ガーデンデザイン入門 その他プリント等 製図用品					
評価方法			前期： 試験 ・ レポート ・ 課題 後期： 試験 ・ レポート ・ 課題			その他		
時数	指導内容		指導上の留意点			学習上の留意点		実時数
1	ガーデンデザインとは	ガーデニングの可能性 生活と庭・建物と庭			生活の場としての庭を考える 建築と庭の関係性		8	
2	ガーデンデザインの歴史	庭の意味 空間の意味 スケール意味			生活の場としての庭 街を構成する庭 ヒューマンスケール		8	
3	日本庭園史	日本における庭の歴史 日本の庭の意味 代表的な日本庭園			日本の庭の歴史 室町・鎌倉・江戸・近代・現代		8	
4	西洋庭園史	西洋各国における庭の歴史 西洋における庭の意味 有名庭園を知る			ヨーロッパの庭、アジアの庭 階級社会と庭 代表的な庭の研究		8	
5	ガーデンデザイン基礎	受注から施工まで 平面図・配置図の実際			受注から施工までの流れを学ぶ。施工図を読む		8	
6	コンセプト	コンセプト・設計主旨とは プレゼンテーション			設計主旨とは何かを理解する 売れ前テーションの方法論		8	
7	デザイン発想の方法	0からは何も生まれない 知識と感性 発想の方法論			デザインをすることとは デザインの方法論		8	
8	ゾーニング	配置 人間の動線 流れ 課題			配置のプランニングの方法論 正しい配置とは 人の流れを考える		8	
9	空間とスケール	ヒューマンスケール 空間とは 氣勢			使える寸法とは 空間が人間に与える影響 庭の流れ（軸・方向）		8	
10	素材・材料	様々なガーデニングに使われる素材の種類と利用方法 コンクリート・木材・塗料等			木材・金属・石材・塗料・配管等を学ぶ		8	
11	色彩とデザイン	植物の色・素材の色 色の与える影響 色と塗装 塗装実習			ガーデニングにおける色彩の利用。色彩によるイメージの変化 光の利用		8	
12	モチーフとデザイン	形とデザインの関係 配置と人間の行動の関係 作成実習			配置による人の流れ、行動の変化。15センチの影響		8	
13	ガーデンデザイン	今までの学習に基づいて庭園図面の作成 作図実習			配置、色、素材に注意し、大まかなデザインをしてみる		8	
14	植栽図	今までの学習に基づいた植栽図の作成 作図実習			前項の図面に尺再掲を施してみる		8	
15	予備				補習授業		8	
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す							

2024年度 授業計画 専門学校山形V.カレッジ

教科名：園芸流通(講義)			前期	教科担任： 山本絵里子	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD		1年	単位数： 1単位
授業のねらい		花卉産業における生産についての知識と顧客ニーズについて学ぶ。また、良いフラワーショップ運営の仕方と取り姿勢や職場とは何かを知る。		後 期 2H×15W=30H 合 計 30H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定		教材費	
テキスト・教材					
評価方法		課題 出席状況 授業態度など総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	花卉産業とは	花卉の特徴		植物植物の観察 流通について調べる	2
2	花卉産業の留つについて	花卉の特徴・流通		植物の観察 流通について調べる	2
3	花卉産業の生産地	花卉の特徴・流通		植物の観察 流通について調べる	2
4	花卉産業の生産量	花卉の特徴・流通		植物の観察 流通について調べる	2
5	花卉産業の生産動向	花卉の特徴・流通		植物の観察 流通について調べる	2
6	フラワーショップ店員の心構え	花業界に興味を持ち植物の知識や技術を学ぶ		植物や店舗流通について詳しく調べる	2
7	フラワーショップ店員の心構え	花業界に興味を持ち植物の知識や技術を学ぶ		植物や店舗流通について詳しく調べる	2
8	品質・品揃え 商品開発	花業界に興味を持ち植物の知識や技術を学ぶ		植物商品管理店舗流通について詳しく学ぶ	2
9	品質・品揃え 商品開発	花業界に興味を持ち植物の知識や技術を学ぶ		植物商品管理店舗流通について詳しく学ぶ	2
10	品質・品揃え 商品開発	花業界に興味を持ち植物の知識や技術を学ぶ		植物商品管理店舗流通について詳しく学ぶ	2
11	店舗計画	花卉生産・流通 店運営について学ぶ		植物商品管理店舗流通について詳しく学ぶ	2
12	店舗計画	花卉生産・流通について学ぶ		植物商品管理店舗流通について詳しく学ぶ	2
13	今後の新規事業の展開について	花卉生産・流通について学ぶ お客様のニーズに合わせ実演を取り入れながら運営の仕方を学ぶ		植物商品管理店舗流通について詳しく学ぶ	2
14	ショップ運営演習について	花卉生産・流通について学ぶ お客様のニーズに合わせ実演を取り入れながら運営の仕方を学ぶ		植物商品管理店舗流通について詳しく学ぶ	2
15	ショップ運営演習について	花卉生産・流通について学ぶ お客様のニーズに合わせ実演を取り入れながら運営の仕方を学ぶ		植物商品管理店舗流通について詳しく学ぶ	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

教科名：ハーブ（栽培・調理）（実習）			前期		教科担任：堀川 栄美子			
学科名：ファッション・プロモート科			コース：F D		2年		単位数：2単位	
授業のねらい			ハーブの持つ効能・古代と現代のハーブとの相違点を習得。育てて収穫するのに必要な知識を学び、個々のハーブの特徴を理解させる。実際に育てることを経験して、日常の暮らしの中でハーブを幅広く応用できる力を養わせる。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H		
目指す検定・資格			目標 取得可能な検定			教材費		
テキスト・教材			スパイス＆ハーブの使い方					
評価方法			課題 出席状況 学習態度を総合して評価する。			その他		
時数	単元		授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	植物観察・手入れ		季節ごとの庭の手入れ 植物の見方			植物観察力を高められるよう指導をする。		2
2	植物観察・手入れ		庭の手入れ 土作り ハーブキッチンガーデンづくり			植物にあわせた土壌づくりを自ら考え実践させる。		2
3	植物観察・手入れ		庭の手入れ 土作り ハーブキッチンガーデンづくり			各植物にあった土壌作りを指導する。		2
4	植物の収穫		ドライフラワー作り サシェ作り			植物の収穫時期をのがさないようにして作品作りに取り組む。		2
5	ハーブの歴史		ハーブと美容、健康との関係 ハーブと人間の関係・歴史			ハーブについて理解を深めさせる。		2
6	ハーブの歴史		ハーブと美容、健康との関係 ハーブと人間の関係・歴史			ハーブについて理解を深めさせる。		2
7	バラの手入れ		ポプリ作成			つぼみ、花など丁寧に摘み取る。 花の乾燥に気をつける。		2
8	バラの手入れ		ポプリ作成			つぼみ、花など丁寧に摘み取る。 花の乾燥に気をつける。		2
9	バラの手入れ		ポプリ作成			つぼみ、花など丁寧に摘み取る。 花の乾燥に気をつける。		2
10	植物観察・手入れ		季節ごとの庭の手入れ ラベンダー・バンドルづくり			個々のアイディアを大切に して作品を完成できるように指導する。		2
11	植物観察・手入れ		ハーブドライフラワーづくり ラベンダースティックづくり			個々のアイディアを大切に して作品を完成できるように指導する。 手順を覚える		2
12	植物観察・手入れ		季節ごとの庭の手入れ			植物にあった手入れを行う。		2
13	植物観察・手入れ		季節ごとの庭の手入れ			植物にあった手入れを行う。		2
14	植物観察・手入れ		季節ごとの庭の手入れ			植物にあった手入れを行う。		2
15	植物観察・手入れ		季節ごとの庭の手入れ			植物にあった手入れを行う。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す							

教科名：ハーブ（栽培・調理）（実習）			後期		教科担任：堀川 栄美子	
学科名：ファッション・プロモート科			コース：F D		2年	単位数：2単位
授業のねらい		ハーブの持つ効能・古代と現代のハーブとの相違点を習得。育てて収穫するのに必要な知識を学び、個々のハーブの特徴を理解させる。実際に育てることを経験して、日常の暮らしの中でハーブを幅広く応用できる力を養わせる。			前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費	
テキスト・教材		スパイス&ハーブの使い方				
評価方法		後期 課題 出席状況 学習態度を総合して評価する。			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	植物観察・手入れ	季節ごとの庭の手入れ 植物の見方			植物観察力を高められるよう指導をする。	2
2	植物観察・手入れ	庭の手入れ 土作り ハーブキッチンガーデンづくり			植物にあわせた土壌づくりを自ら考え実践させる。	2
3	植物観察・手入れ	庭の手入れ 土作り ハーブキッチンガーデンづくり			各植物にあった土壌作りを指導する。	2
4	ハーブの手入れ	庭の手入れ 土作り ハーブキッチンガーデンづくり			ハーブについて理解を深めさせる。	2
5	ハーブの手入れ	庭の手入れ 土作り ハーブキッチンガーデンづくり			ハーブについて理解を深めさせる。	2
6	ハーブの手入れ	庭の手入れ 土作り ハーブキッチンガーデンづくり			ハーブについて理解を深めさせる。	2
7	バラの手入れ	ドライフラワーの準備			つぼみ、花など丁寧に摘み取る。 色鮮やかに乾燥できるよう指導する。	2
8	バラの手入れ	ドライフラワーの準備			つぼみ、花など丁寧に摘み取る。 色鮮やかに乾燥できるよう指導する。	2
9	バラの手入れ	ポプリ作成			色鮮やかな品種を使い製油でかおりをつける。	2
10	植物観察・手入れ	季節ごとの庭の手入れ ラベンダー・バンドルズづくり			個々のアイディアを大切に して作品を完成できるように指導する。	2
11	植物観察・手入れ	ハーブドライフラワーづくり ラベンダースティックづくり			個々のアイディアを大切に して作品を完成できるように指導する。 手順を覚える。	2
12	植物観察・手入れ	季節ごとの庭の手入れ			植物にあった手入れを行う。	2
13	植物観察・手入れ	季節ごとの庭の手入れ			植物にあった手入れを行う。	2
14	調理実習	ハーブを使った料理			スパイス、ハーブの使い方の工夫。	2
15	調調理実習	ハーブを使った料理			スパイス、ハーブの使い方の工夫。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名： フラワーアレンジ 2（実習）			前期	教科担任：齋藤 美英（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD		2 年	単位数：2単位	
授業のねらい		フラワーアレンジメントデザイナーの実務経験を活かし、フラワーアレンジメント・コサージュ・ブーケなど日常様々な場面で花を飾り生活をより豊かにする技術を学び習得できるように指導する。		前 期	2H×15W=30H	
				後 期	2H×15W=30H	
				合 計	60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 フラワー装飾技術検定3級		教材費		
テキスト・教材		フラワー装飾技能検定試験テキスト				
評価方法		前期： 試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。		その他		
時数	指導内容	指導上の留意点		学習上の留意点		実時数
1	アレンジメント説明	花を扱うときの注意点 道具について		アレンジメントを理解する。 作り方のポイントをしっかりとつかむ。		2
2	花束 ラウンド	花束を均等に配置し葉物をクッションとして円形に作成する。		花の配置を正しく理解する。 スパイラルテクニックを覚える。		2
3	花束 ラウンド	花束を均等に配置し葉物をクッションとして円形に作成する。		展開は150度から190度になるように制作する。		2
4	リボン	ループの形 ループの長さ とめつけ用リボンの形		汚れたりしわがよったりしない様に花束を製作する前に作る。		2
5	リボン	ループの形 ループの長さ とめつけ用リボンの形		左右対称に寸法を測定して製作する。		2
6	バスケットアレンジ	大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作。		吸水性フォーム 段階の骨格を理解する。		2
7	バスケットアレンジ	大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作。		底辺が水平になるようにする。花を平均に配置する。		2
8	バスケットアレンジ	大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作。		バラ(大輪系)のみ繰り返し練習する。底辺が水平になるようにする。花を平均に配置する。		2
9	バスケットアレンジ	大輪系の花で骨組み部分を形作る。 吸水性フォームにドームのアレンジメントを製作。		バラ(大輪系)のみ繰り返し練習する。		2
10	ブートニア	二等辺三角形のブートニア		花の向きに注意する。 機能的、安全性 フィット感に注意して製作する。		2
11	ブートニア	二等辺三角形のブートニア		棒とりつけのワイヤーに注意する。 機能的、安全性 フィット感に注意して製作する。		2
12	技能検定課題	花束の製作		決められた寸法。 花の位置 花の組み方		2
13	技能検定課題	バスケットアレンジメントとの製作 筆記問題		ドーム型に製作。 経過観察をしながら進める。		2
14	技能検定課題	ブートニアの製作 筆記問題		正面 側面 背面すべて気をつける。		2
15	総まとめ	筆記問題 検定課題		合格点を目指す。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名： フラワーアレン2（実習）			後期	教科担任：齋藤 美英（実務経験教員）			
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD		2年	単位数：2単位		
授業のねらい		フラワーアレンジメントデザイナーの実務経験を活かし、フラワーアレンジメント・コサージュ・ブーケなど様々な場面で花を飾り生活をより豊かにする技術を学び習得できるように指導する。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H		
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定 フラワー装飾技術検定3級			教材費		
テキスト・教材		フラワー装飾技能検定試験テキスト					
評価方法		後期：課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。			その他		
時数	指導内容	指導上の留意点			学習上の留意点 実時数		
1	フラワーアレンジメントドームスタイル	360度展開の基本的なアレンジメント、半円形にアレンジする。			ドーム型 水平にする。スパイラルを組むときには花を一つ一つ手前に寝かせながら組む。		2
2	トライアングュラススタイル	復習と応用 三角形、平面的なアレンジメントを製作。			3つのガランドを組み合わせる。製作する。 180度～210度展開にする。		2
3	コーススタイル	復習と応用 円錐形のスタイルに製作する。			3つのガランドを組み合わせる。製作する。 180度～210度展開にする。		2
4	水平スタイル	復習と応用 水平型のアレンジメント			何処から見ても美しい水平に構成する。360度展開。		2
5	ファンスタイル	復習応用 扇形アレンジメント			左右対称に製作する。		2
6	クレセントスタイル	復習応用			三日月型に製作する。主軸が傾かないようにする。		2
7	フラワーアレンジメント フリースタイルデザイン	一方見			カットするときは長め長めにカットする。		2
8	フリースタイル	四方見			作品を全方向から確認しながら作成する。		2
9	フリースタイル	花材の曲線を生かす			花の曲線をよく観察してどのように配するか考える。		2
10	フリースタイル	面をつくる			花材の表面を意識して作成する。		2
11	ブーケ応用 グリーンブーケ リングブーケ	リング状に構成する			持った時のバランスとバックの処理に留意する。		2
12	リースづくり	花輪 木の実を使ってクリスマスのかざり付け。			フリ下げたときの重心に配慮しながらデザインする。		2
13	アレンジメント スタイリッシュツリー コーン	コーンオアシスを使って コーンスタイルの応用			シャープな円錐形になるように面を校正する。		2
14	ブーケ応用 シェイプトムーン	シェイプトムーン			手元に持った時のバランスと展開に注意する。バックの処理に注意する。		2
15	アドベントリースリング	教会で使うリース状の製作。			全体のバランスに注意してまとめる。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す						

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： ビジネス実践1（講義）		前期	教科担任：五十嵐 浩		
学科名： 卒年次生		コース：	2 年	単位数： 前期 2単位	
授業のねらい		1 年次に作成したキャリアプランを実現していくために、具体的な就職活動準備を行い、自己実現（内定）を達成する。ビジネス実務は内定を得るためだけではなく、ビジネスマンとして成長するための学習でもある。ビジネスの基本である報告・連絡・相談を身につける。		前期 2H×15W = 30H 後期 合計 30H	
目指す検定・資格		教材費			
テキスト・教材					
		1年次使用教材 『未来ノート』『マイロード』 専門学校生のための就職筆記試験対策問題集			
評価方法		後期 試験・課題提出・就職活動状況・出席状況を総合する			
		その他			
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	2 年次の就職活動心構えと行動 春期休業中の就職活動まとめ		就職活動への意欲を高める	2
2	企業研究	インターネット、企業PR誌等を活用し、目指す業界の企業を知る。		未知企業への視野を広げる	2
3	教養講座	教養講座「社会保険：国民年金について」 自己PR作成		国民年金制度の理解 自分自身を言葉にする	2
4	メールのマナー 1	就職活動中のメールの使用についてマナーを知る。		適切な使用を理解し実践する。	2
5	メールのマナー 2	就職活動中のメールの使用についてマナーを知る。		適切な使用を理解し実践する。	2
6	電話応対 1	電話の基本マナー		受け手・かけ手の基本マナーを再確認する	2
7	電話応対 2	状況に応じた電話対応		就職活動を想定する。	2
8	就職試験対策 2	文章作成 作文・課題を読んだ意見文		読み手に自分の考えを伝える文書作成を意識する	2
9	就職試験対策 3	面接試験での応答		質問の受けとめ、自分の考えを言葉にする難しさを知る	2
10	就職試験対策 4	常識問題		得意分野の伸ばし、苦手分野を強化する	2
11	就職試験対策 5	自己PRの完成		説得力のある内容に組み立てる	2
12	文書作成	社外文書（内定礼状等）		社外文書様式を知り、礼状作成ができるようになる	2
13	訪問のマナー	一般的な他者訪問		社会生活のマナーとして習得する	2
14	ワーキングアットベンチャー企業研究	事前に企業研究を行い、座談会では受け身ではなく積極的な参加を行う。		自分が知らない企業であっても、大きな出会いとなるチャンスである	2
15	ワーキングアットベンチャー振り返り			企業トップの話から、働くことの意義、喜びを感じ取る	2
その他	7月下旬 模擬面接実施 8月上旬 ワーキングアットベンチャー年間を通じて、就職希望者が全員内定するまで、面談・面接指導を実施 必要に応じて、オンライン面接・個別面接指導を実施 漢字の読み書きを継続実施				

2024年度 授業計画書 専門学校山形V.カレッジ

教科名： ビジネス実践2（講義）			後期	教科担任：五十嵐 浩	
学科名：卒年次生		コース：		単位数：	前期 2単位
授業のねらい		1年次に作成したキャリアプランを実現していくために、具体的な就職活動準備を行い、自己実現（内定）を達成する。ビジネス実務は内定を得るためだけではなく、ビジネスマンとして成長するための学習でもある。ビジネスの基本である報告・連絡・相談を身につける。		前期 後期 合計	2H×15W = 30H 2H×15W = 30H 60H
目指す検定・資格				教材費	
テキスト・教材		1年次使用教材 『未来ノート』『マイロード』 専門学校生のための就職筆記試験対策問題集			
評価方法		後期 試験・課題提出・就職活動状況・出席状況を総合する		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	夏期休暇中のまとめ	長期休暇での活動まとめ これからの活動計画立案		未内定の学生は意欲を保持して活動を継続する	2
2	内定期間中の過ごし方	内定の意味を理解し、学校生活・社会生活全般を意識する		卒業までの期間は学生という立場だけでないことを意識する	2
3	職場の人間関係	公的な場で求められる社会ルール、気遣い		個人的関係、公的関係の違いを知る	2
4	電話応対 3	電話応対の応用 会社への電話取次		電話機を使うことで緊張感を持つ	2
5	電話応対 4	電話応対の応用 会社への電話不在時の対応		電話機を使うことで緊張感を持つ	2
6	訪問のマナー 3	アポイントの取り方から訪問		ロールプレーによりイメージを具体的に持つ。	2
7	訪問のマナー 4	名刺交換 お茶の接待・いただき方		ロールプレーによりイメージを具体的に持つ。	2
8	訪問のマナー 4	お茶の接待・いただき方 実践		日常ではお茶を煎れる機会が減っているため、全員実践する	2
9	慶弔 1	冠婚葬祭 慶事と弔事		自分の経験を思い出しながら学ぶ	2
10	慶弔 2	冠婚葬祭 慶事と弔事 祝儀袋・不祝儀袋の書き方		筆ペンを使用し作成する	2
11	慶弔 3	冠婚葬祭 会社の季節行事		次年度からを意識する	2
12	教養講座（卒）	1年生に対し就職活動アドバイスを行う		自経験を後輩への適切なアドバイスを行う。	2
13	就職活動交流会	外部講師による労働・社会保険等講話		労働者としての重要な情報を把握する	2
14	文書作成	季節の挨拶状		年賀等の季節の挨拶状	2
15	1年間の総括	今後の社会人生の目標を考える。			2
その他	年間を通じて、就職希望者が全員内定するまで、面談・面接指導を実施 漢字の読み書きを継続実施				

教科名：ネイチャークラフト（実習）			前期	教科担任：齋藤 美英（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：		2 年	単位数：2単位	
授業のねらい		工具類を使い幅広くハンドクラフトを学び、技術を身に付ける。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費	
テキスト・教材						
評価方法		前期： 試験 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	クラフトの説明	材料、用具の説明 染色のための用具説明			クラフトの楽しさを知る。	2
2	クラフトの説明	材料、用具の説明 染色のための用具説明			クラフトの楽しさを知る。	2
3	アガパンサスコサージュ	染料説明 染色の仕方			同じ染料でも染める布によって変わることも覚える	2
4	アガパンサスコサージュ	染料説明 染色の仕方			希望色を作れるようにする	2
5	カトレアの枝物	絞りの飛騨の入れ方 着色			ガーゼのハンカチを使って絞りをきかせる	2
6	カトレアの枝物	染料説明 染色の仕方			花びら、葉を1枚ずつ こてで立体的にする。	2
7	なでしこ盆栽	自然に見せる方法			花びら、葉を1枚ずつ こてで立体的にする。	2
8	なでしこ盆栽	コケの置き方			バランスを考え、自然に配置する。	2
9	アートフラワー	糊の作り方 多くの種類の布を使って作成 木綿 ジーンズなど 乾かし方			糊の濃さを調整しつくる。 平らな台、テーブル はけ 手 濡れたタオルを使って貼り付ける。	2
10	アートフラワー 夏の花製作	糊の作り方 多くの種類の布を使って作成 木綿 ジーンズなどの乾かし方			自然にある花を自然に見えるように作成する。	2
11	ガラス器を使った アレンジメント	ガラス器を使った時の土台の作り方と効果的な花材の配しかたを学ぶ			アーティフィシャルフラワーの基本的な扱い方、土台の構成を考える。	2
12	アーティフィシャル スワッグ	つりさげるデザインのバランスのとり方と効果的な花材の配し方を学ぶ			人工的な素材により季節感を演出する。	2
13	アートフラワーとキャン ドルを組み合わせ	アーティフィシャルフラワーと異素材の組み合わせによるデザインの幅の広がりを学ぶ。			異素材の組み合わせによるデザインに広がりが出来ることを体験する。	2
14	アーティフィシャルのヘ アドレス	ガーランドによる作品の作り方と身に付けるデザインの機能性を学ぶ。			ガーランドの手法の習得 いかに機能的にデザインするか。	2
15	アーティフィシャルのヘ アドレス	ガーランドによる作品の作り方と身に付けるデザインの機能性を学ぶ。			ガーランドの手法の習得 いかに機能的にデザインするか。	2
その他						

教科名：ネイチャークラフト（実習）			後期	教科担任：齋藤 美英（実務経験教員）			
学科名：ファッション・プロモート科		コース：		2年	単位数：2単位		
授業のねらい		工具類を使い幅広くハンドクラフトを学び、技術を身に付ける。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H		
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費		
テキスト・教材							
評価方法		後期： 課題 授業態度 出席状況を総合して評価する。			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	ラウンドコサージュ①	ワイヤリングテクニックを用いたコサージュの制作			正しいワイヤリングメソッドの習得。		2
2	ラウンドコサージュ②	ワイヤリングテクニックを用いたコサージュの制作			正しいワイヤリングメソッドの習得		2
3	プチアレンジ	ガラスの器グリーンアレンジ			ガラスの器を使った時のベースカバーと花のマッチング。		2
4	クレセントコサージュ①	ワイヤリングテクニックを用いたコサージュの制作			正しいワイヤリングメソッドの習得。		2
5	クレセントコサージュ②	ワイヤリングテクニックを用いたコサージュの制作			正しいワイヤリングメソッドの習得。		2
6	プチアレンジ	多肉を使ったフレームアレンジ			フレームの空間を生かしたデザインバランスの習得。		2
7	リストレット	ワイヤリングテクニックを用いたリストレットの制作			正しいワイヤリングメソッドとガーランドテクニックの習得。		2
8	ボードアレンジ	木製の板をベースにした作品			ベースとのマッチングを考えながら制作する。		2
9	プチブーケ	ワイヤリングテクニックを用いたプチブーケの制作			早く正確なワイヤリングテクニックの習得。		2
10	竹を使ったアレンジ	アーティフィシャルと黒竹を組み合わせた作品			黒竹を使うことで高いプロポーションを美しくデザインすることを学ぶ。		2
11	ミツマタのアレンジ	枝を組み合わせるデザイン			ミツマタを使うことで枝の交差によるデザイン力を養う。		2
12	ガーランドブーケ①	ワイヤリングとガーランドの手法を用いたブーケ			早く正確なワイヤリング、ガーランドテクニックの習得。		2
13	ガーランドブーケ②	ワイヤリングとガーランドの手法を用いたブーケ			早く正確なワイヤリング、ガーランドテクニックの習得。		2
14	ベースから作る アレンジ①	土台から制作し花あしらいまでトータルにデザインする			ベースからデザインすることにより、完成した時の花とのバランスまでイメージする力を養う。		2
15	ベースから作る アレンジ②	土台から制作し花あしらいまでトータルにデザインする			ベースからデザインすることにより、完成した時の花とのバランスまでイメージする力を養う。		2
その他							

教科名：キャリア実習2（実習）			後 期	教科担任：クラス担任		
学科名：		コース：		2 年	単位数：2単位	
授業のねらい		外部組織での就労体験、ボランティア体験等を通し、他者とのコミュニケーション力や、組織内での責任、協調性を学び、就労意欲と職業観を養う。実習前後は、諸手続き・報告を滞りなく実行し、事務力を高める。就職年次は、前年度の課題を改善し、卒業後の職業人としての行動につないでいく。			前期 2H×15W = 30H 後期 2H×15W = 30H 合計 60H	
目指す検定・資格		特になし			教材費	
テキスト・教材		特になし				
評価方法		後期 所定時間の学外実習 レポート報告を壮語して評価する			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	オリエンテーション	年度の実習概要説明 実習目的・実習規程			実習の目的を理解して臨む。卒業年次は、前年度の経験を踏まえ、課題改善に取り組む。	2
2	学外実習	実習前 指定の届け出を行う。 実習 所定の時間数以上を実習する。 実習後 所定報告書の提出				56
3	報告会	全校報告会 他学生に自分自身の実習内容・今後の課題等を報告する			プレゼンテーションのトレーニングの場であるとともに、他者の報告を積極的に傾聴し、自己の課題として共有する。	2
その他						

2024年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：自主研究 2（実習）			前期	教科担任：堀川 栄美子			
学科名：ファッション・プロモート科		コース：		2年	単位数：2単位		
授業のねらい		常に広い視野を持ちながら創造性・発展性を養うことを目標に検定受験・研究・開発・制作等を行い、各自の就職に活かせる技能・能力を身に付ける。			前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H		
目指す検定・資格		目標 各自ごと 取得可能な検定			教材費		
テキスト・教材		各自学習内容によってことなる					
評価方法		前期： 課題 出席状況、学習態度で評価する。			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	目標設定	各自目標の設定 研究方法、計画、テーマについて検討する。			目標やテーマについて明確に決めるようにする。		2
2	目標設定	各自目標の設定 研究方法、計画、テーマについて検討する。			方向性を見失わないように3段回に分け目標設定をする。		2
3	各自課題について	各自目標の設定 研究方法、計画、テーマについて検討する。			長期目標を見据えて短期・中期目標を修正する。		2
4	課題について	各自目標の設定 研究方法、計画、テーマについて進める。			長期目標を見据えて短期・中期目標を修正する。		2
5	課題について	各自目標の設定 研究方法、計画、テーマについて進める。			長期目標を見据えて短期・中期目標を修正する。		2
6	各自課題の取り組み	ポイントを抑える 製作課題実習			ポイントをおさえての課題づくり。 (技能検定)		2
7	各自課題の取り組み	各自課題、作業の組み立てについて（技能検定）			各自課題の理解を深め、取り組む過去問を解く。		2
8	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習（技能検定）			各自課題の理解を深め、取り組む問題点の見直しをする。		2
9	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習（技能検定）			各自課題の理解を深め、取り組む過去問を解く。		2
10	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習（技能検定）			各自課題の理解を深め、取り組む問題点の見直しをする。		2
11	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習（技能検定）			各自課題の理解を深め、取り組む過去問の徹底。		2
12	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習（技能検定）			各自課題の理解を深め、取り組む。 問題点の見直しをする。 過去問の徹底。		2
13	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習（技能検定）			各自課題の理解を深め、取り組む。		2
14	各自課題の取り組み	ポイントをおさえての課題づくり 製作課題実習（技能検定）			各自課題の理解を深め、取り組む。		2
15	総まとめ 報告	専門技能の習得 達成度の確認 振り返り			総合的な仕上げ 達成度を自己評価する。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す						

2024年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：自主研究 2（実習）			前期・後期・通期	教科担任：堀川 栄美子		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：		2 年	単位数：2 単位	
授業のねらい		常に広い視野を持ちながら創造性・発展性を養うことを目標に検定受験・研究・開発・制作等を行い、各自の就職に活かせる技能・能力を身に付ける。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 各人ごと 取得可能な検定			教材費	
テキスト・教材		学習内容によって異なる				
評価方法		後期：課題 出席状況、学習態度などを総合して評価とする。			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	目標の設定	各自目標の設定・研究方法、計画、テーマの検討			目標やテーマについて明確に決めるようにする。	2
2	目標設定	各自目標の設定・方法、計画、テーマの検討			方向性を見失わないように3段回に分け目標設定をする。	2
3	各自課題の取り組み	課題、作業の組み立てについて			長期目標を見据えて短期・中期目標を修正する。	2
4	各自課題の取り組み	課題、作業の組み立てについて			長期目標を見据えて短期・中期目標を修正する。	2
5	各自課題の取り組み	各自の課題づくり 製作課題実習			長期目標を見据えて短期・中期目標を修正する。	2
6	各自課題の取り組み	各自の課題づくり 製作課題実習			各自課題の理解を深め、取り組む。	2
7	各自課題の取り組み	各自の課題づくり 製作課題実習			各自課題の理解を深め、取り組む。	2
8	各自課題の取り組み	各自の課題づくり 製作課題実習			各自課題の理解を深め、取り組む。 問題点の見直しをする	2
9	各自課題の取り組み	各自の課題づくり 製作課題実習			各自課題の理解を深め、取り組む。	2
10	各自課題の取り組み	各自の課題づくり 製作課題実習			各自課題の理解を深め、取り組む。 問題点の見直しをする。	2
11	各自課題の取り組み	各自の課題への取り組み 製作課題実習			各自課題の理解を深め、取り組む。	2
12	各自課題の取り組み	製作課題実習			各自課題の理解を深め、取り組む。 問題点の見直しをする	2
13	各自課題の取り組み	製作課題実習			各自課題の理解を深め、取り組む。	2
14	各自課題の取り組み	製作課題実習			各自課題の理解を深め、取り組む。	2
15	まとめ 振り返り	専門技能の習得 達成度の確認			自己評価をする。達成度の確認。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名：Photoshop2（実習）			前期		教科担任：須田 加奈子	
学科名：ファッションプロモート科			コース：		2年	単位数：2単位
授業のねらい		代表的なペイント系ソフトである「Adobe Photoshop」の基本的な操作を学習するとともに、アプリケーションを使用したデザインワークを行なうことで、現場で生かされる実践的な能力を修得する。		前期	2H×15W = 30H	
				後期	2H×15W = 30H	
				合計	60H	
目指す検定・資格				教材費		
テキスト・教材		We Net PhotoshopクイックマスターCS5/CS6				
評価方法		前期 課題、授業態度、出席状況を総合して評価する。		その他		
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点		実時数
1	Photoshop機能概要	Photoshop機能、起動から終了、作業エリアと画面表示		Photoshop機能について解かり易い解説を心がけ、興味を煽る		2
2	環境設定・選択	環境設定、パフォーマンス、各選択ツール、選択範囲		難しい、という印象を持たせないようにする		2
3	その他の選択方法	クイックマスク・アルファチャンネル、選択範囲の保存と読み込み		繊細なこだわりが結果につながるという体験		2
4	課題1	クイックマスクとアルファチャンネル		細部にこだわった丁寧な作業が結果に結びつくことを実感させる		2
5	画像解像度とサイズ、コピー&ペースト、画像の変形	画像解像度、カット・コピー・ペースト、拡大・縮小・回転・歪み・ワープなど		Photoshopは簡単かつ面白い、と強く印象付けたい		2
6	カラーモードと色調補正 課題2	様々なカラーモード、トーン・コントラスト・色相・彩度、ボスタリゼーションなど 料理写真の加工		“出来る”という自信作り		2
7	ペイント	いろいろなペイント系ツール		簡単な課題を出すことで、よりPhotoshopに親しみを持てるよう工夫する		2
8	レタッチ	いろいろなレタッチ系ツール、ペイント系コマンド		様々なツールの生み出す結果を楽しめるような授業づくり		2
9	レイヤー	レイヤー機能、調整レイヤーと塗りつぶしレイヤー		苦手意識を待たないよう、体験の中でレイヤーに親しませる		2
10	パスとシェイプ	パスの作成と編集		失敗も含め楽しみ、チャレンジ精神を培う		2
11	テキスト	テキストの入力と編集、文字加工		より充実した知識と技能を身につけさせる		2
12	フィルター 画像の入出力	フィルターの概要と使用、保存形式		より充実した知識と技能を身につけさせる		2
13	課題3-1	写真加工		自分自身の撮影した写真の加工を通して、Photoshopをより身近なものに感じて貰いたい		2
14	課題3-2	写真加工		楽しみながら課題を制作し、Photoshopへの理解を深める		2
15	課題3-3	写真加工と講評		Photoshopを自分のものとし、今後も気楽に扱えるツールと感じて貰えるよう導く		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名：Photoshop2（実習）			後期		教科担任：須田 香奈子	
学科名：ファッションプロモート科			コース：		2年	単位数：2単位
授業のねらい		代表的なペイント系ソフトである「Adobe Photoshop」の基本的な操作を学習するとともに、アプリケーションを使用したデザインワークを行なうことで、現場で生かされる実践的な能力を修得する。		前期	2H×15W = 30H	
				後期	2H×15W = 30H	
				合計	60H	
目指す検定・資格				教材費		
テキスト・教材		We Net PhotoshopクイックマスターCS5/CS6				
評価方法		後期 課題、授業態度、出席状況を総合して評価する。		その他		
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点		実時数
1	フィルター、 画像の入出力	アルファチャンネルを使ったフィルター、保存形式など		前期の学習をふまえた導入とする		2
2	フォトレタッチ	色調補正ツール、写真の補正		演習問題に取り組みながらフォトショップの可能性について知る時間とする		2
3	ロゴデザイン	ロゴデザイン、カスタムシェイプでロゴデザイン		視点を変えたフォトショップのワザで楽しむ		2
4	課題4	オリジナルロゴ作成		Photoshop＝楽しいというイメージ作り		2
5	食べ物写真の補正	ノイズを抑える、ゴミの除去、色調補正、特定色の彩度調整		前期課題の食べ物写真とはまた違った工夫を紹介したい		2
6	曇天を夕暮れに 課題5	傾きの修正、特定部分の自色調変更 イラストのカラーバリエーション		よりPhotoshopに親しみを持てるよう工夫する		2
7	カード&ステーショナリー	アクション 立体ポップ		工程の記録・再生の便利さを経験する		2
8	フィルターで作るブックカバー	イラスト風に加工した写真と、フィルターで生成したパターンテキストチャーを使いブックカバーを作る		教科書掲載の作品制作過程をなぞり、気軽にモノづくりに親しむ		2
9	フィルターで作るブックカバー	自分で撮った写真を使いブックカバーを作る		素材集めから制作の過程を楽しむ		2
10	フィルターで作るブックカバー	自分で撮った写真を使いブックカバーを作る		自分が集めた素材から実用品が出来上がる喜びを知る		2
11	フォトコラージュ	写真の合成やコラージュ		実技を通してより深い技術の定着へとつなげる		2
12	自由制作	ここまでの学習をふまえた作品制作 (ポスター、カード、ブックカバーなど)		自由制作を通し集大成といえる作品作りへと導く		2
13	自由制作	ここまでの学習をふまえた作品制作 (ポスター、カード、ブックカバーなど)		自由制作を通し集大成といえる作品作りへと導く		2
14	自由制作	ここまでの学習をふまえた作品制作 (ポスター、カード、ブックカバーなど)		自由制作を通し集大成といえる作品作りへと導く		2
15	自由制作	ここまでの学習をふまえた作品制作 と講評会		自由制作を通し集大成といえる作品作りへと導く		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名： 着付け2 （実習）			前期	教科担任： 堀川 栄美子			
学科名：ファッション・プロモート科			コース：BC FS KM		2年	単位数： 2単位	
授業のねらい		和裁研究所で勤務経験を活かし、着物の核やTPOを理論として指導する。			前 期	2H×15W=30H	
		着物を美しく着るための補正の方法を学ぶ。			後 期	2H×15W=30H	
		着用した後のたたみ方、しまい方、手入れ方法を習得する。			合 計	60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費		
テキスト・教材		和装の道テキスト					
評価方法		前期：試験、授業態度、出席状況、道具の準備等を総合して評価する			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	着付の道具	着付に必要な道具について学ぶ。			着付に必要な道具を適切に選ぶ力を身につけ、洋服を着用する時との違いに興味をいだけるようにする。		2
2	着物・帯の種類	着物や帯にどのような種類のものがある かを学ぶ。			様々な着物、帯の違いを正確に把握できるようにする。		2
3	着物・帯の種類	TPOに応じて、どのような着物、帯を着用するのが、相応しいかを学ぶ。			季節に合う着物、着物の格の違いに興味を持ちながら学べるようにする。		2
4	補正	補正について学ぶ。			体の凹凸を修正する意義について知り、着物と洋服の違いに気づけるようにする。		2
5	補正	自分の体形に合う補正を学ぶ。 補正着を製作する。			タオルコットンをあてて補正をし、美しい体型づくりを身につけられようにする。		2
6	補正	自分の体形に合う補正を学ぶ。 補正着を製作する。			タオルコットンをあてて補正をし、美しい体型づくりを身につけられようにする。		2
7	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
8	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
9	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る）			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
10	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る） 半幅帯のバリエーションを学ぶ。			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
11	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（自分で着る） 半幅帯のバリエーションを学ぶ。			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
12	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（人に着せる） 半幅帯のバリエーションを学ぶ。			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
13	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（人に着せる） 半幅帯のバリエーションを学ぶ。			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
14	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（人に着せる） 半幅帯のバリエーションを学ぶ。			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
15	浴衣の着装	浴衣に半幅帯を結ぶ（人に着せる） 半幅帯のバリエーションを学ぶ。			着くずれを防ぐには、苦しくない着付とはどのようなものかを理解できることに留意する。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す						

教科名： 着付け2（実習）			後期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）				
学科名：ファッション・プロモート科			コース：BC FS KM		2年	単位数： 2単位		
授業のねらい			和裁研究所で勤務経験を活かし、着物の核やTPOを理論として指導する。 着物を美しく着るための補正の方法を学ぶ。 着用した後のたたみ方、しまい方、手入れ方法を習得する。			前期 2H×15W=30H 後期 2H×15W=30H 合計 60H		
目指す検定・資格			目標 取得可能な検定			教材費		
テキスト・教材			和装の道テキスト					
評価方法			後期： 試験、授業態度、出席状況、道具の準備等を総合して評価する			その他		
時数	単元		授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	衣紋抜きの製作		衣紋抜きの使い方や作り方を学ぶ。			衣紋抜きの役割を実感し、自装するときに自分で用意できる力を養う。		2
2	長襦袢と半襟		長襦袢に衣紋抜きをつけ、半襟をつける。 半襟の種類を学ぶ。			色々な半襟の種類を学び、着物を着る時の準備ができるようになる。		2
3	長襦袢と半襟		長襦袢に衣紋抜きをつけ、半襟をつける。			色々な半襟の種類を学び、着物を着る時の準備ができるようになる。		2
4	長襦袢と半襟		長襦袢に衣紋抜きをつけ、半襟をつける。 長襦袢の着装を学ぶ。			着物を着る準備ができ、長襦袢を自分で着られるようになる。		2
5	単衣の着物の着装 （名古屋帯）		単衣の着物に名古屋帯を結ぶ。			浴衣と単衣の着物、半幅帯と名古屋帯の着装の違いを実感できるようにする。		2
6	単衣の着物の着装 （名古屋帯）		単衣の着物に名古屋帯を結ぶ。			浴衣と単衣の着物、半幅帯と名古屋帯の着装の違いを実感できるようにする。		2
7	単衣の着物の着装 （名古屋帯）		単衣の着物に名古屋帯を結ぶ。			美しい着付のポイントを着実に身につけられるようにする。		2
8	単衣の着物の着装 （名古屋帯）		単衣の着物に名古屋帯を結ぶ。			美しい着付のポイントを着実に身につけられるようにする。		2
9	単衣の着物の着装 （名古屋帯）		単衣の着物に名古屋帯を結ぶ。			美しい着付のポイントを着実に身につけられるようにする。		2
10	単衣の着物の着装 （名古屋帯）		単衣の着物に名古屋帯を結ぶ。			美しい着付のポイントを着実に身につけられるようにする。		2
11	単衣の着物の着装 （名古屋帯）		人に単衣を着付け、名古屋帯を結ぶ			人に着付るポイントを着実に身につけられるようにする。		2
12	単衣の着物の着装 （名古屋帯）		人に単衣を着付け、名古屋帯を結ぶ			人に着付るポイントを着実に身につけられるようにする。		2
13	単衣の着物の着装 （名古屋帯）		人に単衣を着付け、名古屋帯を結ぶ			人に着付のけるポイントを着実に身につけられるようにする。		2
14	単衣の着物の着装 （名古屋帯）		人に単衣を着付け、名古屋帯を結ぶ			着付ける相手の気持ちを思いやる着付の仕方を身につける。		2
15	単衣の着物の着装 （名古屋帯）		人に単衣を着付け、名古屋帯を結ぶ			着付ける相手の気持ちを思いやる着付の仕方を身につける。		2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す							

2024年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名： 和裁構成・製作 1（応用）（講義）			通期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）		
学 科 名 ファッション・プロモート科		コース：KM		2 年	単位数：2単位	
授業のねらい		和裁研究所で勤務経験のある指導者のもと、きものや洋服がいかにして販売されるまでのプロセスを理解し、お客様の心理をよく理解してうえでの販売の技術を身に着ける。1 年時に学識をさらに深めることを目標とする。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格					教材費	
テキスト・教材		ファッション販売Ⅱ ファッション販売能力検定試験問題集 2 級（一般財団法人日本ファッション教育振興協会）				
評価方法		前期： 試験、授業態度、出席状況を総合して評価する 後期： 同上			その他	
時数	指導内容	指導上の留意点			学習上の留意点	実時数
1	ファッション販売知識	ファッション販売の流れと販売スタッフに求められる資質			販売の形が多様化する中で高まる接客の重要性を理解し、販売スタッフに求められる資質とはどのようなものかを探る。	4
2	ファッション販売知識	販売スタッフの役割			販売スタッフが担う役割について知る。	4
3	ファッション販売知識	販売に必要な情報			販売スタッフに必要な様々な情報について考える。	4
4	ファッション販売知識	顧客づくりの重要性と管理術			顧客づくりの重要性と情報の管理の方法と必要性を学ぶ。	4
5	ファッション販売知識	顧客づくりの重要性と管理術			顧客づくりの重要性と情報の管理の方法と必要性を学ぶ。	4
6	ファッション・マーケティング知識	マーチャンダイジングの知識と実践			マーチャンダイジングの基礎的な知識を身につけるようにする。	4
7	ファッション・マーケティング知識	リテールマーチャンダイジング			ファッション店舗の視点で具体的なリテールマーチャンダイジングについて理解を深める。	4
8	ファッション・マーケティング知識	デジタルマーケティング			ICTを活用したマーケティング活動について理解を深める。	4
9	店舗運営管理	店舗運営管理の基本			店舗運営に関わる業務を学び、そのために必要な知識を蓄える。	4
10	店舗運営管理	店舗係数管理			店舗運営の貴重な資料となる係数の管理方法について具体例を見ながら理解する。	4
11	店舗運営管理	店舗の人事管理 ～スケジュール管理・人事管理の関連法規～			活気ある売り場づくりのためのワークシフトづくりや人事管理を円滑にするための労働法などを学ぶ。	4
12	店舗運営管理	店舗の人事管理 ～人材育成・ミーティング～			スタッフ一人ひとりを計画的に育成するための研修の方式などの知識を深める。	4
13	店舗の運営管理	コンプライアンス			企業のコンプライアンスの重要性などについて理解を深める。	4
14	検定対策	過去問題を解いてみる。			問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の強化を図る。	4
15	検定対策	過去問題を解いてみる。			問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の強化を図る。	4
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名：和服構成・製作2（応用）			（実習）		前期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員） 和裁研究所			
学科名：ファッションプロモート 科			コース：KM			2年	単位数：8 単位		
授業のねらい		和裁研究所での勤務経験を活かし、1年次に習得した単衣の仕立技術を応用し礼装和服(衿の仕立て)など高度な技術を学び身に付ける。				前 期	8H×15W=120H		
						後 期	8H×15W=120H		
						合 計	240H		
目指す検定・資格		和裁技術検定（中級）				教材費			
テキスト・教材		和裁教科書からの抜粋プリント							
評価方法		作品の提出、授業態度、出席状況、実技等を総合して評価				その他			
時数	単元	授業内容（細目）				学習上の留意点		実時数	
1	大裁女物衿長着（小紋）	自分の寸法にあった衿を仕立てる。 ～裾合わせ裾綴じ				単衣とは違う各部分の仕立てのコツを身に着けられるようにする。		8	
2	大裁女物衿長着（小紋）	自分の寸法にあった衿を仕立てる。 ～背綴じ 脇綴じ～						8	
3	大裁女物衿長着（小紋）	自分の寸法にあった衿を仕立てる。 ～衿下縫い～						8	
4	大裁女物衿長着（小紋）	自分の寸法にあった衿を仕立てる。 ～衿先づくり 衿始末～						8	
5	大裁女物衿長着（小紋）	自分の寸法にあった衿を仕立てる。 ～袖付け～						8	
6	大裁女物衿長着（小紋）	自分の寸法にあった衿を仕立てる。 ～仕上げ～						8	
7	着物の格	振袖 留袖 訪問着 付け下げ 小紋 紬などの相違点を学ぶ。				着物の格の違いを把握し、TPOに合う着物を選べるようにする。		8	
8	大裁女物衿長着 振袖 訪問着など	絵羽模様の衿を仕立てる ～寸法 柄合わせ				絵羽模様独特の柄衿の方法を習得する。		8	
9	大裁女物衿長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の衿を仕立てる ～標付け				小紋、無地とは違う標のつけ方を習得する。		8	
10	大裁女物衿長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の衿を仕立てる ～標付け				絵羽模様の衿各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。		8	
11	大裁女物衿長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の衿を仕立てる ～袖縫い						8	
12	大裁女物衿長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の衿を仕立てる ～袖縫い						8	
13	大裁女物衿長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の衿を仕立てる ～袖縫い						8	
14	大裁女物衿長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の衿を仕立てる ～袖縫い						8	
15	大裁女物衿長着 小紋、無地、紬など	絵羽模様の衿を仕立てる ～表身頃縫い						8	
その他									

教科名：和服構成・製作２（基礎）（実習）			後期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）和裁研究所		
学科名：ファッションプロモート 科			コース：KM		2年	単位数：8単位
授業のねらい		和裁研究所での勤務経験をいかし、基本の運針から始め、和服について必要な理論と実技を学ぶ。 自分の体形にあった着物を仕立て上げる中で、竹田式和裁の着やすく、着崩れしない、丁寧な仕立ての方法を身につける。			前 期 8H×15W=120H 後 期 8H×15W=120H 合 計 240H	
目指す検定・資格		和裁技術検定（初級）			教材費	
テキスト・教材		和裁教科書からの抜粋プリント				
評価方法		作品の提出、授業態度、出席状況、実技等を総合して評価			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	各種帯の説明 ～名古屋帯を仕立てる	様々な帯の違いを学ぶ。 名古屋帯を仕立てる。			帯の違いを正確に把握し、帯地の地直しの仕方を身につける	8
2	各種帯の説明 ～名古屋帯を仕立てる	様々な帯の違いを学ぶ。 名古屋帯を仕立てる。			帯芯の扱い方や、表地とのつりあい、始末の仕方を身につける。	8
3	紋の種類と縫い方	紋の数や入れ方の違いを学ぶ。 紋付を縫う際の紋の位置や縫い方を学ぶ			細やかな作業を求められる単元なので、根気強く作業できるようにする。	8
4	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～寸法、柄合わせ～			絵羽模様独特の柄合わせの方法を習得できるようにする	8
5	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～標付け～			小紋、無地とは違う標のつけ方を習得できるようにする。	8
6	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～			絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
7	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～			絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
8	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～			絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
9	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～			絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
10	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～			絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
11	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～			絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
12	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～			絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
13	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～			絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
14	大裁女物袷長着 振袖、訪問着など	絵羽模様の袷を仕立てる ～縫い方～			絵羽模様の袷各部分の縫製のコツを身につけられるようにする。	8
15	技術検定対策	和服地の紋様、裁断の方法について学ぶ。			技術検定中級に対応できるように学習する。	8
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名：洋服構成・製作1（応用）（講義）			前期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）		
学科名：ファッションプロモート科		コース：F S		2年	単位数：2 単位	
授業のねらい		和裁研究所勤務での販売実務経験を活かし、ファッションの中心となる洋服がいかにして販売されるまでのプロセスを理解し、お客様の心理をよく理解してうえでの販売の技術を身に着ける。1年時に学識をさらに深めることを目標とする。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		ファッション販売能力検定2級			教材費	
テキスト・教材		ファッション販売Ⅱ ファッション販売能力検定試験問題集2級 （一般財団法人日本ファッション教育振興協会）				
評価方法		前期 試験、授業態度、出席状況を総合して評価する 後期 同上			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	ファッション販売技術	お客様に関する知識と コーディネート提案			客別対応のポイントと多様なウェアリング提案への理解を深める。	2
2	ファッション販売技術	服飾雑貨の販売技術			近年アパレルショップで取り扱いが増えている服飾雑貨についての理解を深める。	2
3	ファッション販売技術	クレーム対応			様々なクレームについて具体例をみながら学び、適切な対応方法を身につける。	2
4	ファッション販売技術	衣類のお手入れとお直し			店舗での販売時に可能なお直しの範囲を理解し、適切なお直しの手法を身につける。	2
5	ファッション商品知識	素材の種類と主要アイテム			アパレルショップでの主要アイテムと素材の理解を深める。	2
6	ファッション商品知識	配色の基本技術			ディスプレイや接客に使える配色技術を身につける。	2
7	ファッション商品知識	副資材の知識			アパレル商品に使われる副資材の中から商品部材を中心に学ぶ。	2
8	ファッション商品知識	サイズの知識			サイズの企画と表示方法について理解を深める。	2
9	売り場づくり	市場の変化とVMD 店舗コンセプトの具現化とVMD			近年重要性増すVMDについて具体例を見ながら理解を深める。	2
10	売り場づくり	VMD計画の実施			VMDを実施するための要素と計画性について理解を深める。	2
11	売り場づくり	商品陳列の構成方法とVPとPPで展開する演出方法			店舗での陳列の構成と演出についてその手法の理解を深める。	2
12	売り場づくり	色彩と照明			店舗演出に効果的な配色や分量配分、照明利用の理解を深める。	2
13	売り場づくり	商品分類と売り場構成			売り場での効果的な陳列の数量と技法、ゾーニングの知識を深める。	2
14	売り場づくり	業態別VMDの特徴			業態によって異なるVMDの特徴の知識を深める。	2
15	検定対策	過去問題を解いてみる。			問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の教科を図る。	2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					

教科名：洋服構成・製作1（応用）（講義）			後期	教科担任：池田恭仁子（実務経験教員）		
学科名：ファッションプロモート科			コース：F S		2年	単位数：2単位
授業のねらい		和裁研究所勤務での販売実務経験を活かし、ファッションの中心となる洋服がいかにして販売されるまでのプロセスを理解し、お客様の心理をよく理解してうえでの販売の技術を身に着ける。1年時に学識をさらに深めることを目標とする。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		ファッション販売能力検定2級			教材費	
テキスト・教材		ファッション販売Ⅱ ファッション販売能力検定試験問題集2級 （一般財団法人日本ファッション教育振興協会）				
評価方法		前期 試験、授業態度、出席状況を総合して評価する 後期 同上			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	ファッション販売知識	ファッション販売の流れと販売スタッフに求められる資質			販売の形が多様化する中で高まる接客の重要性を理解し、販売スタッフに求められる資質とはどのようなものかを探る。	2
2	ファッション販売知識	販売スタッフの役割			販売スタッフが担う役割について知る。	2
3	ファッション販売知識	販売に必要な情報			販売スタッフに必要な様々な情報について考える。	2
4	ファッション販売知識	顧客づくりの重要性と管理術			顧客づくりの重要性と情報の管理の方法と必要性を学ぶ。	2
5	ファッション販売知識	顧客づくりの重要性と管理術			顧客づくりの重要性と情報の管理の方法と必要性を学ぶ。	2
6	ファッション・マーケティング知識	マーチャンダイジングの知識と実践			マーチャンダイジングの基礎的な知識を身につけるようにする。	2
7	ファッション・マーケティング知識	リテールマーチャンダイジング			ファッション店舗の視点で具体的なリテールマーチャンダイジングについて理解を深める。	2
8	ファッション・マーケティング知識	デジタルマーケティング			ICTを活用したマーケティング活動について理解を深める。	2
9	店舗運営管理	店舗運営管理の基本			店舗運営に関わる業務を学び、そのために必要な知識を蓄える。	2
10	店舗運営管理	店舗係数管理			店舗運営の貴重な資料となる係数の管理方法について具体例を見ながら理解する。	2
11	店舗運営管理	店舗の人事管理 ～スケジュール管理・人事管理の関連法規～			活気ある売り場づくりのためのワークづくりや人事管理を円滑にするための労働法などを学ぶ。	2
12	店舗運営管理	店舗の人事管理 ～人材育成・ミーティング～			スタッフ一人ひとりを計画的に育成するための研修の方式などの知識を深める。	2
13	店舗の運営管理	コンプライアンス			企業のコンプライアンスの重要性などについて理解を深める。	2
14	検定対策	過去問題を解いてみる。			問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の強化を図る。	2
15	検定対策	過去問題を解いてみる。			問題を解くことによって自分の苦手分野を見つけ、検定に向けて知識の強化を図る。	2
その他						

2024年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：洋裁構成・製作2（応用）(実習)			前期	教科担任：越尾 薫(実務経験教員)			
学科名：ファッション・プロモート		FS	2年	単位数：8単位			
授業のねらい	縫製会社勤務の経験を活かし指導する。基本アイテムの服作りを通して、服飾の専門的な知識と制作技術を習得します。 服飾に関する創造力と感性の開発を目指します			前 期	8H×15W＝120H		
				後 期	8H×15W＝120H		
				合 計	240H		
目指す検定・資格	目標 技能五輪大会出場 取得可能な検定 洋裁技術検定試験（中級）			教材費	15,000円		
テキスト・教材	文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座②③ 技能検定2級受験教材 パターンメイキング教材 パンツ教材 ワンピース教材						
評価方法		前期：課題提出 出席状況 授業態度			その他		
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点		実時数
1	パンツ	動作分析 体型観察 採寸 ストレートパンツの作図			服飾造形講座② p 125 日常動作と、素材について考える。		8
2	パンツ	パターンメイキング 裁断 仮縫い パターン修正と縫い代整理			p 154 仮縫いによるパター修正		8
3	パンツ	付属布の裁断 アイロン工程 縫い代しまつ			p 164 本縫いの前工程について		8
4	パンツ	ダーツ ベルト ファスナー ポケット			p 166 あき（ファスナー、ポケット）を美しく作る方法		8
5	パンツ	ベルト付け 仕上げ 工程分析 提出			p 166 ベルト付けの注意点、		8
6	ブラウス	1年生で履修した既製服仕立てのブラウスと、注文服仕立てのブラウスの違いについて学ぶ			ミシンを多様化する既製服と手仕事を多く用いる注文服の違いについて学ぶ		8
7	ブラウス	注文服仕立てのブラウス制作 裁断 アイロン工程 縫い代しまつ ダーツ			縫い代なしパターンを使い裁断する方法		8
8	ブラウス	ポケット作りと縫い付け			中縫い式のアウトポケットをきれいにつける方法		8
9	ブラウス	身頃組み立て 衿と見返し付け 袖（あき、カフス付け含む）			表衿・裏衿を別々につけてきれいに中綴じする方法		8
10	ブラウス	仕上げ（カフス、ポケット口、裾、ラペル奥、衿、前端、袖ぐり）ボタンホール・ボタン付け 肩パット 提出			手作業の工程が多い。 縫い忘れないこと		8
11	ワンピース	シルエット・ネックライン・袖の形態による名称を学び、ワンピース制作を行う（各自履修した原型を使用する）			服飾造形講座③ p 123 ウエスト切り替えのデザイを制作する		8
12	ワンピース	パターンメイキング 裁断			p 164		8
13	ワンピース	身頃組み立て 袖 衿			p 184		8
14	ワンピース	ロングファスナー付け			p 191 ファスナー付けの道具の使い方について		8
15	ワンピース	仕上げ 提出					8
その他							

2024年度 授業計画書 専門学校山形V. カレッジ

教科名：洋裁構成・制作2（基礎）（応用）（実習）		後期	教科担任：越尾 薫（実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート		コース：ファッションデザイン	2年	単位数：8単位
授業のねらい	縫製会社勤務の経験を活かし指導する。基本アイテムの服作りを通して、服飾の専門的な知識と制作技術を習得します。		前 期	8H×15W＝120H
	服飾に関する創造力と感性の開発を目指します		後 期	8H×15W＝120H
			合 計	240H
目指す検定・資格	目標 技能五輪全国大会出場 取得可能な検定 洋裁技術検定試験（中級）		教材費	5,000円 ※（オリジナル作品の制作に掛かる材料費は含まれません）
テキスト・教材	文化ファッション大系 改訂版・服飾造形講座④ 文化ファッション大系 服飾造形講座⑥ パターンメイキング教材 ジャケット教材			
評価方法		後期：課題提出 出席状況 授業態度	その他	
時数	単元	授業内容（細目）	学習上の留意点	実時数
1	ジャケット	原型のダーツ操作 テーラードジャケットの作図	改訂版・服飾造形講座④ p 2 作図の手順	8
2	ジャケット	パターンメイキング シーチング裁断 仮縫い 補正	p 41 パターンメイキングの注意点	8
3	ジャケット	パターン修正 裏地付きパターンメイキング 裁断	p 52 p 56 p 60 縫い代・合印の必要性 地直し・裁断の注意点	8
4	ジャケット	アイロン工程 縫い代しまつ （縫製）裏地縫い	p 65 p 69 p 74 アイロンの使い方 裏地をきれいに縫う方法	8
5	ジャケット	ダーツ ポケット 衿 袖の縫い方 アイロンの使い方	p 70 表にあたりを出さない方法・裏地を控えるという考え方	8
6	ジャケット	肩 脇 袖作り 袖付け 裏身頃の縫い方	p 83 袖山を美しく仕上げる方法	8
7	ジャケット	肩パットつけ 表身頃と裏身頃を縫い返す	p 82 袖山を美しく仕上げる方法	8
8	ジャケット	中綴じ 裏袖付け 仕上げ（ボタンホール・ボタン付け含む）	p 86 手まつりのボタンホール	8
9	ジャケット	工程分析 <u>提出</u>	ジャケットの製作手順を工程表にまとめる	8
10	オリジナル作品	フォーマルドレスまたはカジュアルドレスの制作 オリジナルデザインによるパターンメイキング	オ 服飾造形⑥応用編（1）	8
11	オリジナル作品	フォーマルドレスまたはカジュアルドレスの制作 ファンデーションを作る	服飾造形⑥応用編（1）	8
12	オリジナル作品	フォーマルドレスまたはカジュアルドレスの制作	服飾造形⑥応用編（1）	8
13	オリジナル作品	フォーマルドレスまたはカジュアルドレスの制作	服飾造形⑥応用編（1）	8
14	オリジナル作品	フォーマルドレスまたはカジュアルドレスの制作	服飾造形⑥応用編（1）	8
15	オリジナル作品	仕上げ <u>出提</u>	服飾造形⑥応用編（1）	8
その他	洋裁技術検定試験 初級・中級の作図問題ならびにデザインパターンに関する講義			

教科名：服装史（講義）			前期	教科担任：池田 恭仁子（実務経験教員）	
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD KM		2年	単位数：2 単位
授業のねらい		和裁研究所に勤務経験のある指導者のもと、世界の多様な服装が現代のスタイルに至るまで、どのように変化、発展してきたかを、各時代の社会状況と照らし合わせながら学習する。		前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格				教材費	
テキスト・教材		被服概論(財団法人 職業訓練教材研究会)			
評価方法		前期：試験 出席状況 授業態度など総合して評価する。		その他	
時数	単元	授業内容（細目）		学習上の留意点	実時数
1	有史以前の服装	原始的な衣服とはどのようなものか、素材となるものや、人間と衣服の関りを中心に学ぶ。		各時代の社会情勢を把握し、それがファッションにどのような影響を与えたかを考えながら学べるようにする。 また、画像資料を多く用いることで、当時のファッションをリアルに感じられよう留意する。	2
2	古代文明の服装	メソポタミア文明の服装を中心に学ぶ。			2
3	古代文明の服装	エジプト文明の服装を中心に学ぶ。			2
4	古代文明の服装	ギリシャ、ローマ時代の服装を学ぶ。			2
5	中世の服装	ビザンティン帝国やゲルマン人に焦点を当て、新しい文化の服装を学ぶ。			2
6	中世の服装	キリスト教的な考え方と東方の文化が融合して生まれたロマネスク様式の服装を学ぶ。			2
7	中世の服装	宮廷を中心に豪華に洗練されていくゴシック文化の服飾を学ぶ。			2
8	近世の服装	技巧的なデザインや、人工的に誇張されたデザインが多い16世紀の服装を中心に学ぶ。			2
9	近世の服装	オランダの市民的なナチュラルなモードや、貴族的な豪華なファッションなどの17世紀の服装を中心に学ぶ。			2
10	近世の服装	豪華絢爛な服飾の最盛期ともいえる18世紀の服装を中心に学ぶ。			2
11	近代の服装	フランス革命を契機に服飾から身分差が取り払われる過程を学ぶ。			2
12	近代の服装	19世紀の豊かなファッションを学ぶ。			2
13	近代の服装	二つの大戦を境に服装が変化してく様子を学ぶ。現代に繋がる衣服の変遷を学ぶ。			2
14	近現代の服装	二つの大戦を境に服装が変化してく様子を学ぶ。現代に繋がる衣服の変遷を学ぶ。			2
15	近現代の服装	二つの大戦を境に服装が変化してく様子を学ぶ。現代に繋がる衣服の変遷を学ぶ。			2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す				

教科名：服装史（講義）			後期	教科担任：池田 恭仁子（実務経験教員）		
学科名：ファッション・プロモート科		コース：FD		2年	単位数：2 単位	
授業のねらい		日本の服装が現代の着物の形に到達するまでの過程を、各時代の社会情勢や、諸外国からの影響などと照らし合わせながら学ぶ。			前 期 2H×15W=30H 後 期 2H×15W=30H 合 計 60H	
目指す検定・資格		目標 取得可能な検定			教材費	
テキスト・教材		被服概論(財団法人 職業訓練教材研究会)				
評価方法		試験 出席状況 授業態度など総合して評価する。			その他	
時数	単元	授業内容（細目）			学習上の留意点	実時数
1	有史以前の服装	日本人のもっとも原始的な服飾を学ぶ。			各時代の社会情勢や諸外国との繋がりが、当時の生活様式が、日本人の服飾にどのような影響を与えたかを考えながら学べるようにする。 また、画像資料を多く用いることで、当時の日本人の服飾をリアルに感じられよう留意する。	2
2	古墳時代の服装	大陸との交流や技術の進歩、生活様式変化によって衣服の形態が変化した様を中心に学ぶ。				2
3	飛鳥時代の服装	身分、位によって服装が定められた過程やそれがどのようなものであったかを中心に学ぶ。				2
4	奈良時代の服装	法令によって衣服が定められた点や、当時の人々が取り入れた中国風の服飾を中心に学ぶ。				2
5	平安時代の服装Ⅰ	遣唐使が廃止されたことで日本風の形に変化していく服装を学ぶ。				2
6	平安時代の服装Ⅱ	遣唐使が廃止されたことで日本風の形に変化していく服装を学ぶ。				2
7	鎌倉時代の服装	武家に好まれる簡素な服飾、貴族的な好みとの違いを学ぶ。				2
8	室町時代の服装	室町時代に確立する武家礼装を中心に学ぶ。				2
9	安土・桃山時代の服装	新しい染色の技術や、新しく生まれたモチーフの多様性、西洋から取り入れた新しいファッションを学ぶ。				2
10	江戸時代の服装Ⅰ	身分制度を視覚的に表す服装を中心に学ぶ。				2
11	江戸時代の服装Ⅱ	現代の着物の原型と考えられる小袖の紋様、染色技術、流行の変遷を中心に学ぶ。				2
12	明治時代の服装	服装の西洋化を中心に学ぶ。				2
13	大正時代の服装	大正時代に入ってさらに進む洋装化と 2 つ大戦が日本の服装に与えた影響を中心に学ぶ。				2
14	戦後の服装	戦後から現代に繋がる衣服の変遷を目まぐるしい流行を中心に学ぶ。				2
15	髪型・かぶりものの歴史	日本の服飾における髪型の変遷を学ぶ。				2
その他	授業での学習の他に、自宅等での予習・復習を課す					